FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

FinePix F401

使 用 説 明 書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
この説明書には、フジフイルムデジタルカメラファインピックス F401の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本製品の関連情報はホームページをご覧ください。 http://www.fujifilm.co.jp/ または http://www.finepix.com/

BL00156-101 (1)

目　次

1
2
3
4
5
6

はじめに

▶ご使用の前に必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みください。

■撮影の前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

＊本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得るであろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカード（スマートメディア）の転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用いただけませんので、ご注意願います。

■液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分に注意してください。万一以下の状態になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

●皮膚に付着した場合：
付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。

●目に入った場合：
きれいな水でよく洗い流し、最低15分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。

●飲み込んだ場合：
水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の手当を受けてください。

■ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

●本製品は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。
使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因となることがあります。

■製品の取り扱いについて

本製品は、精密な電子部品で構成されておりますので、画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■商標について

●iMac、Macintoshは、Apple Computer, Inc.の登録商標です。

●Windowsは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。Windowsの正式名称は、Microsoft Windows Operating Systemです。

●SmartMediaは株式会社 東芝の商標です。

●その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標です。

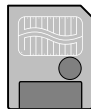
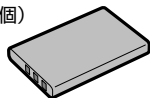
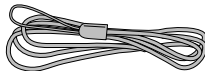
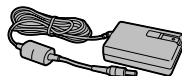
カメラの特長/付属品

カメラの特長

- 有効画素数210万画素
- "スーパーCCDハニカム" 搭載により、記録画素数最大2304×1728(398万画素)
- 高性能光学3倍ズームを搭載
- 小型軽量アルミニウム・マグネシウム合金ボディ
- 起動約2.5秒、撮影間隔最短約1.3秒と軽快な操作感
- マクロ撮影機能付きオートフォーカス
- 撮影条件の設定が可能なマニュアル撮影モード
- ISO 800/1600の高感度撮影可能(1Mモードのみ)
- 撮影直後に画像を約2秒間自動的に再生する画像確認機能
- スーパーCCDハニカムの特長を生かした5.4倍ハニカムズーム(光学3倍ズームとメガピクセル時最大約1.8倍のなめらかな(多段階)デジタルズーム機能併用)
- 再生ズーム機能(最大14.4倍)
- 連写機能
- ムービー(動画)撮影可能(音声付き)
- 撮影情報の記録に便利なボイスメモ機能
- 1.5型11.4万画素低温ポリシリコンTFT液晶モニター
- クレードル(別売)に置くだけで簡単充電、簡単パソコン接続
- USB接続により簡単・高速に画像ファイル転送が可能
- デジタルカメラの業界統一規格DCF*準拠

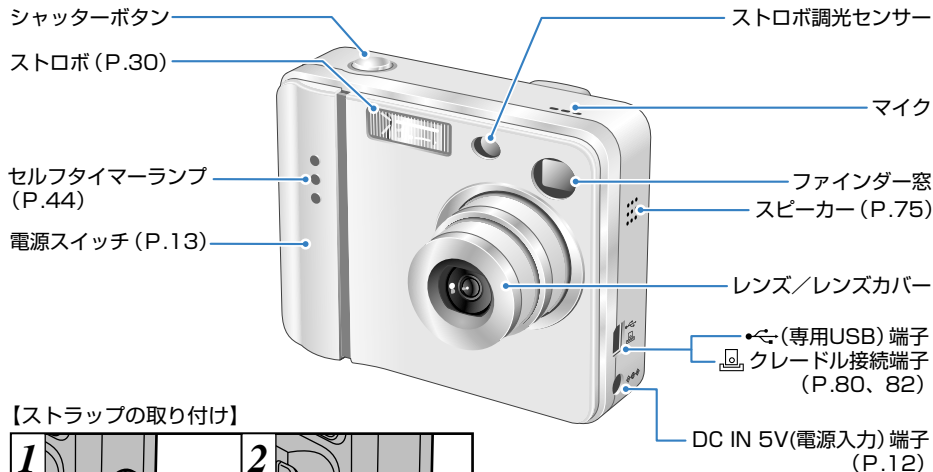
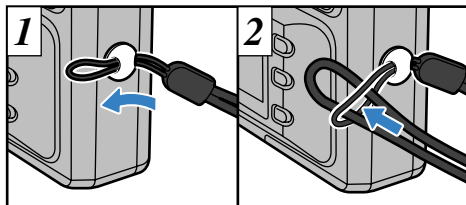
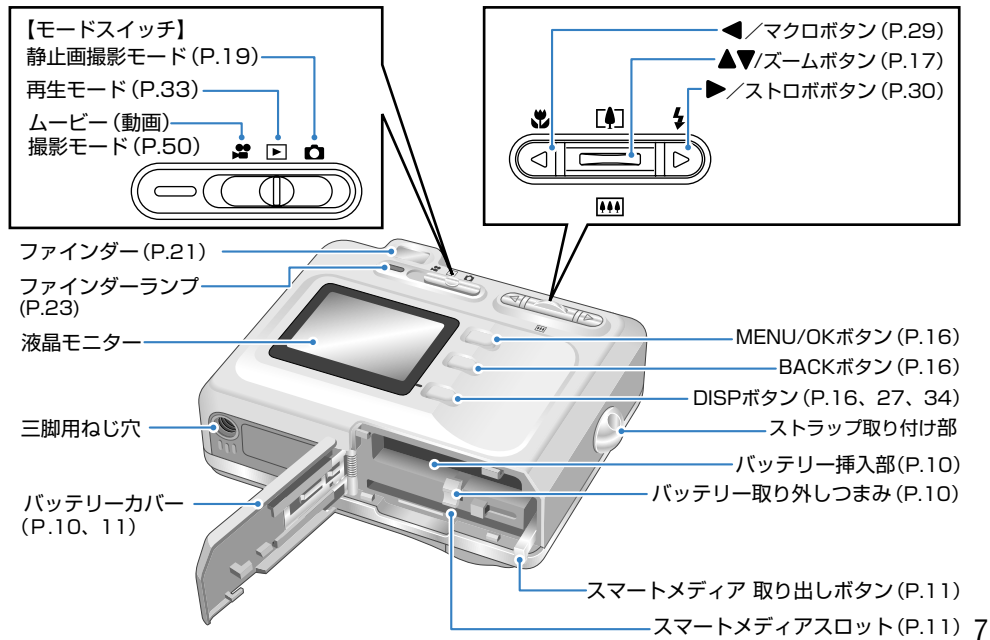
 ＊DCFは電子情報技術産業協会(JEITA)で制定された規格「Design rule for Camera File system」の略称です。

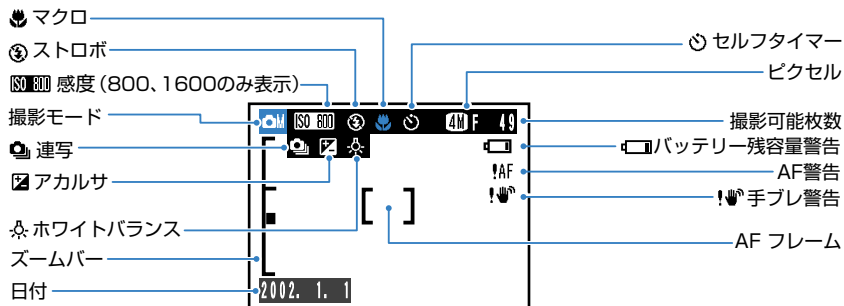
付属品

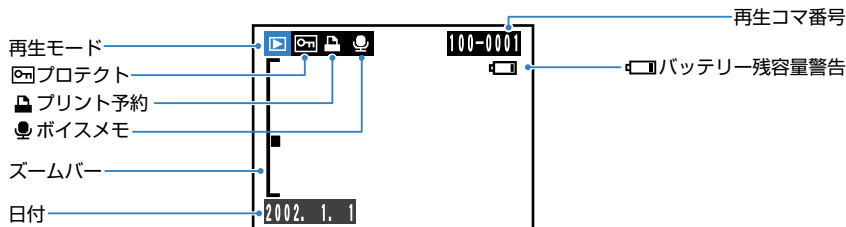
- スマートメディア 16MB、3.3V(1枚)
 付属品:静電気防止ケース(1個)
 　　　　インデックスラベル(1組)

- 充電式バッテリー NP-60(1個)
 ソフトケース付き

- ストラップ(1本)

- ACパワーアダプター
 AC-5VS
 接続コード:約2m(1台)

- USBインターフェースセット(1式)
 ・CD-ROM:Software for FinePix EX(1枚)
 ・FinePix F401専用USBケーブル(1本)
 ・ソフトウェア取扱ガイド(1部)
- 使用説明書(本書1部)
- 安全上のご注意(1部)
- 保証書(1部)

各部の名称

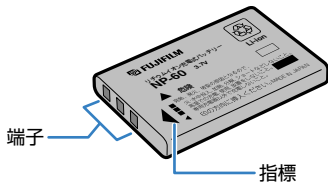
＊（　）内のページに詳しい説明があります。

【モードスイッチ】
静止画撮影モード（P.19）
再生モード（P.33）
ムービー（動画）
撮影モード（P.50）
◀／マクロボタン（P.29）
▲▼/ズームボタン（P.17）
▶／ストロボボタン（P.30）
ファインダー（P.21）
ファインダーランプ
（P.23）
液晶モニター
三脚用ねじ穴
バッテリーカバー
（P.10、11）
MENU/OKボタン（P.16）
BACKボタン（P.16）
DISPボタン（P.16、27、34）
ストラップ取り付け部
バッテリー挿入部（P.10）
バッテリー取り外しつまみ（P.10）
スマートメディア 取り出しボタン（P.11）
スマートメディアスロット（P.11）

各部の名称（表示例）

液晶モニターの文字表示例：静止画撮影モード

液晶モニターの文字表示例：再生モード

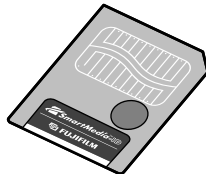
バッテリーとスマートメディア™を入れる

使用するバッテリー

必ず専用の充電式バッテリー NP-60をお使いください。
弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。

充電式バッテリー NP-60　1個

- 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
- バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなることがあります。
- バッテリーについてのご注意は90、91ページをご参照ください。

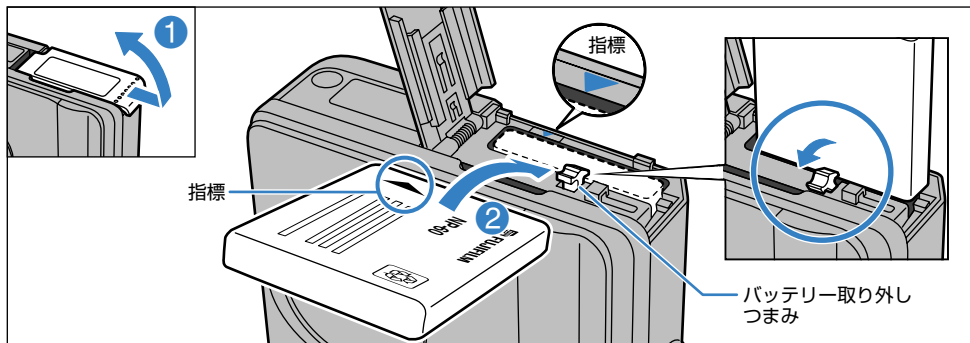
使用するスマートメディア™（別売）

スマートメディアは必ず3.3V仕様をお使いください。

- ●MG-4SB（4MB）
- ●MG-8SB（8MB）
- ●MG-16SB（16MB）
- ●MG-32SB（32MB）
- ●MG-16SW（16MB：ID付き）
- ●MG-32SW（32MB：ID付き）
- ●MG-64SW（64MB：ID付き）
- ●MG-128SW（128MB：ID付き）

- ライトプロテクトシールがはられていると、記録、消去ができません（➡59ページ）。
- 本カメラでの動作保証は弊社製スマートメディアのみとなります。
- 3.3V仕様品の中には「3V」または「ID」という表示のものがあります。
- スマートメディアについてのご注意は93、94ページをご参照ください。

バッテリーとスマートメディア™を入れる

指標

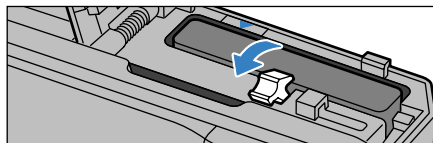
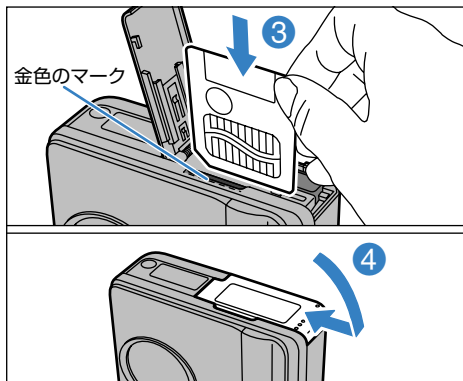
指標

バッテリー取り外し
つまみ

❶バッテリーカバーをスライドさせて開けます。
❷指標どうしが向き合うようにして、バッテリー取り外しつまみを矢印の方向に指で動かしてバッテリーを入れます。バッテリーがロックされたことを確認します。

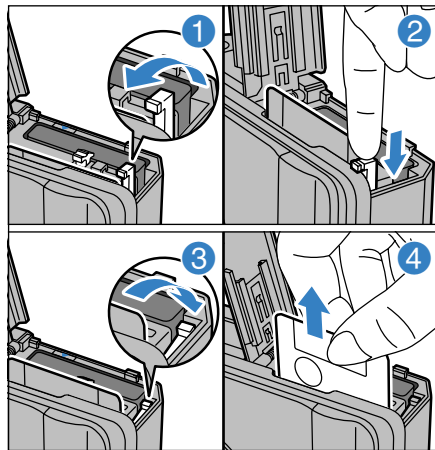
バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。

バッテリーカバーは、絶対に電源を入れたまま開けないでください。スマートメディア、または画像ファイルなどが破壊されることがあります。

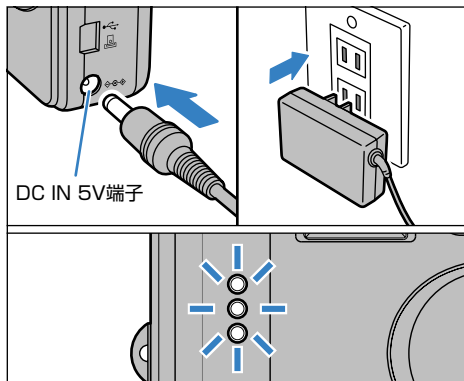
◆バッテリーを取り出したいときは◆

バッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。

バッテリーを取り出すときは必ず電源を切ってください。

❸スマートメディアスロットの金色のマーク側にスマートメディアの端子部分（金色の部分）を合わせて確実に奥まで差し込みます。
❹バッテリーカバーを閉めます。

! 電源が入った状態でバッテリーカバーを開けると、スマートメディア情報保護のため電源が切れます。
! スマートメディアの向きが間違っていると奥まで入りません。また、無理な力を加えないでください。
! スマートメディアを保管するときは、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。

◆スマートメディアを取り出したいときは◆

バッテリーカバーを開け、❶スマートメディア取り出しボタンを引き起こし、❷スマートメディア取り出しボタンを押し、❸スマートメディア取り出しボタンを倒して元の位置に戻します。❹スマートメディアをつまんで取り出します。

1

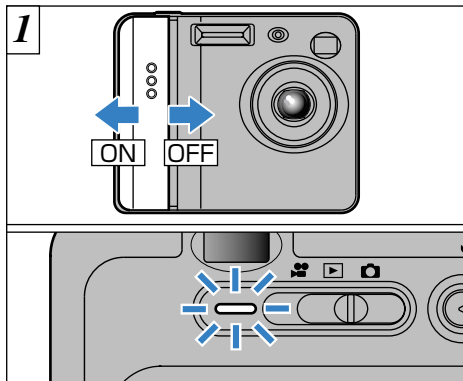
バッテリーを充電する

カメラの電源が切れていることを確認します。ACパワーアダプターの接続プラグを“DC IN 5V”端子に差し込み、次に電源コンセントに差し込みます。
セルフタイマーランプが点灯［青］し、バッテリーの充電が開始されます。完了するとセルフタイマーランプが消灯します。
使い切ったバッテリーは約3時間でフル充電されます（環境気温23℃±2℃のとき）。

ACパワーアダプターで使う

パソコンへ撮影した画像等を転送するなど、電源が切れては困るときに使用します。また、バッテリーの消耗を気にせず撮影・再生することができます。

●使用可能なACパワーアダプター
付属品　　　：AC-5VS（推奨）
弊社製互換品：AC-5VH、AC-5VHS

- 必ず上記の弊社製品をご使用ください。
- ACパワーアダプターについてのご注意は92ページをご参照ください。
- ACパワーアダプターの接続および取り外しは、カメラの電源が切れているときに行ってください。
  カメラの電源が一時的に切れるため、撮影中の画像、動画は記録されません。また、スマートメディアの破損やパソコン接続時誤動作の原因になります。
- 低温時は充電時間が長くなることがあります。
- 充電時にセルフタイマーランプが点滅したときは、充電異常のため充電できません。その場合は98ページをご参照ください。
- 充電中に電源を入れると充電が中断されます。
- AC-5VS、AC-5VH、AC-5VHSは海外でも使用できます（➡92ページ）。
- 別売のバッテリーチャージャー BC-60を使用すると充電時間を短縮できます（➡87ページ）。

電源のON/OFF・日時の設定

電源をON/OFFするには電源スイッチをスライドします。電源を入れるとファインダーランプ［緑］が点灯します。

“📷/🎥”モードのときはレンズカバーが開き、レンズ部が動きます。精密部品のため、レンズ部を手で押さえないでください。“フォーカスエラー”“ズームエラー”が表示され誤作動や故障の原因になります。
また、レンズに指紋がつかないようにご注意ください。撮影画像の画質低下の原因になります。

初めて電源を入れると、日付がクリアされています。“MENU/OK”ボタンを押して日時を設定します。

- あとで設定するときは“BACK”ボタンを押します。
- 日時を設定しないと電源を入れるたびに確認画面が表示されます。
- 電源を入れると、セルフタイマーランプが約5秒間点灯します。
- 電源スイッチを入れたままバッテリーを入れると、一瞬ファインダーランプ/セルフタイマーランプが点灯しますが、故障ではありません。

❶“◀▶”で年・月・日・時・分を選びます。
❷“▲▼”で設定します。

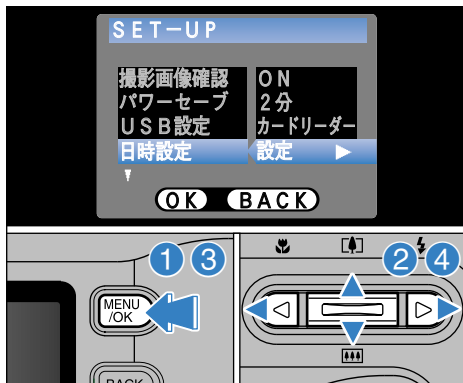
日時を設定したら、“MENU/OK”ボタンを押します。
実行すると撮影または再生モードになります。

❗“▲”または“▼”を押し続けると数字が連続して変わります。

❗時刻表示で“12：00”を越えると、自動的にAM（午前）/PM（午後）が切り換わります。

❗秒は設定できませんが、時刻をより正確に合わせたいときは時報のゼロ秒時に“MENU/OK”ボタンを押すことをおすすめします。

❗設定した日時は、ACパワーアダプターを接続またはバッテリーを入れて約2時間以上経過していれば、カメラから両方とも取り外しても、約5時間保持されます。

日時を修正するには

日時を修正するには

❶“MENU/OK” ボタンを押します。

❷“◀▶” で “SET” 各種設定を選び、“▲▼” で “SET—UP” を選びます。

❸“MENU/OK” ボタンを押します。

❹“日時設定” を選び、“▶” を押します。

日時の設定方法は14ページをご参照ください。

◆バッテリー残容量の確認◆

電源を入れ、液晶モニターにバッテリー残容量表示（ ・ ・ ）がされていないことを確認します。何も表示されていないときは、バッテリーの残容量は十分です。

- “ ” 白点灯：バッテリーの残容量は約半分以下です。
- “ ” 赤点灯：バッテリーの残容量が不足しています。まもなく電源が切れますので、バッテリーを交換するか充電をおすすめします。
- “ ” 赤点滅：バッテリーの残容量がありません。ただちに表示が消えて動作を終了します。バッテリーを交換するか充電をしてください。

❗上記は撮影モードでの目安です。ボイスメモ再生などの再生モードでは “ ” から “ ” になるまでの時間が短くなることがあります。

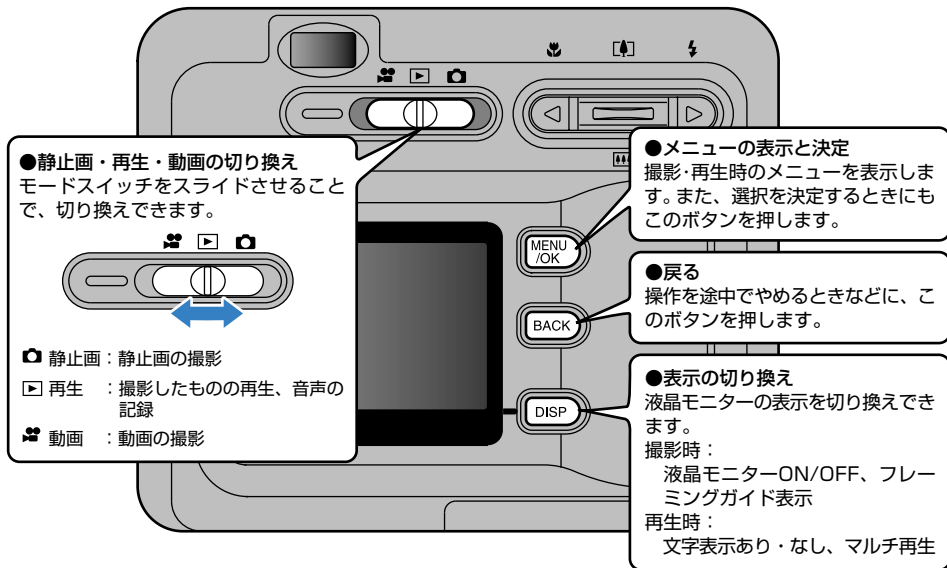
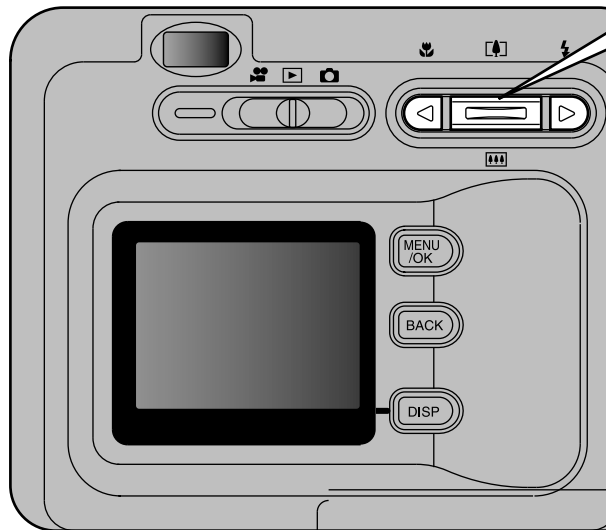
◆パワーセーブ機能◆

機能有効時は、約30秒間操作をしないと液晶モニターなどが消え、消費電力を抑えます（➡78ページ）。

その後しばらく放置（2分間または5分間）すると自動的に電源が切れます。再度、電源を入れるには、いったん電源スイッチをスライドさせて、入れ直します。

1

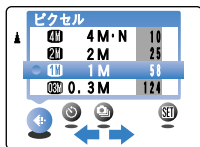
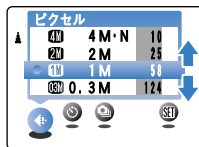
基本操作ガイド

本カメラの機能について説明します。

MENU
/OK
BACK
DISP
● ▲▼◀▶ の主な操作
モードスイッチが "📷" のとき
ズーム
マクロ（🌷）のON/OFF
ストロボ（⚡）の設定
モードスイッチが "▶" のとき
再生ズーム、動画/音声の再生、停止
コマの移動、動画のコマ送り
モードスイッチが "🎥" のとき
ズーム

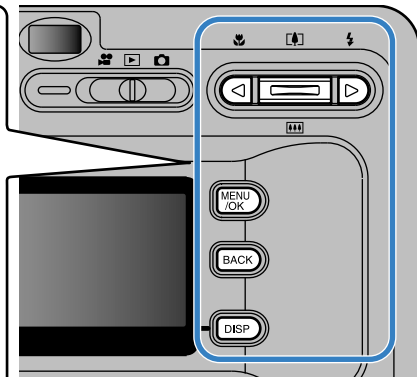
2

●メニューの操作

❶メニューの表示
“MENU/OK” ボタンを押します。

❷メニューの選択
“◀▶” ボタンを押します。

❸設定の選択
“▲▼” ボタンを押します。

❹設定の決定
“MENU/OK” ボタンを押します。

BACK
操作を途中でやめるときなどに、このボタンを押します。

使用説明書では、上、下、左、右を三角マークで表します。
上・下のときは “▲▼” となります。
左・右のときは “◀▶” となります。

◆ガイダンス(案内)表示について◆

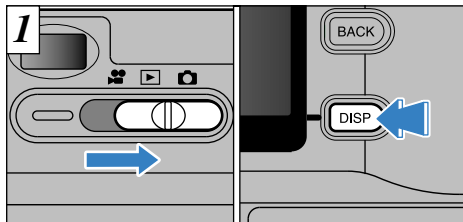
液晶モニター下部に、次のステップに進むためのガイダンス(案内)が表示されますので、対応するボタンを押してください。

DISP ズーム
OK トリミング

ズームするには “DISP” ボタンを、トリミングするには “MENU/OK” ボタンを押します。

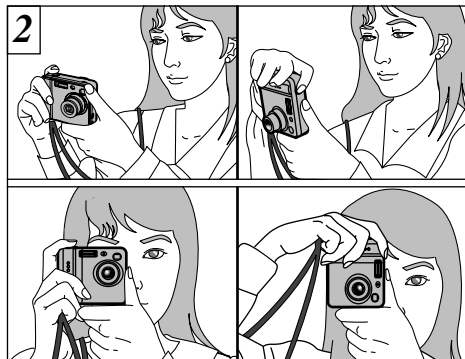
撮影してみましょう（Aオート撮影）

準備編をお読みいただき、撮影の準備が終わっていることと思います。
基本編では、「撮る」➡「見る」➡「消す」という基本操作を説明していきます。
実際に操作しながら、基本操作をマスターしましょう。

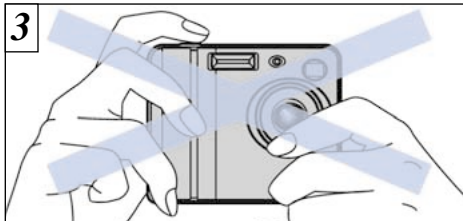
1

モードスイッチを“”に合わせます。
ファインダー撮影するときは“DISP”ボタンを押して液晶モニターをOFFにすると、バッテリーが長持ちします（マクロ撮影時は液晶モニターをOFFにできません）。

●撮影可能距離：約60cm〜無限遠

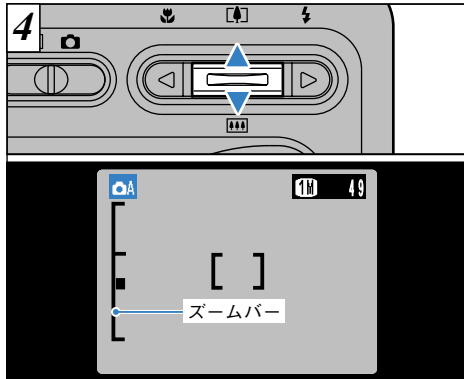
“カードエラー”“記録できませんでした”“再生できません”“フォーマットされていません”が表示された場合は、95〜97ページをご参照ください。

2

両脇を締め、両手でカメラを構えます。
右手の親指はズーム操作しやすい位置に置きます。

- 約60cmより近づいた場合にはマクロに設定してください（➡29ページ）。
- バッテリーを長持ちさせるにはファインダー撮影（液晶モニターOFF）をおすすめします。
- 撮影するときカメラが動くと、画像がブレる原因になります。とくに、暗い場所でストロボ発光禁止にして撮影する場合は手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

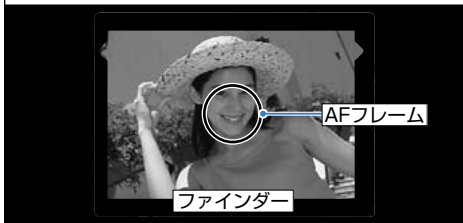
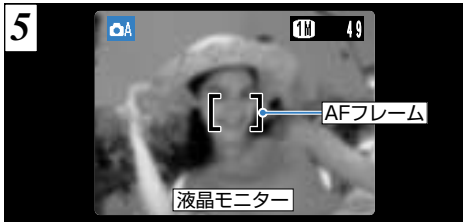
3

レンズ、ストロボ、ストロボ調光センサーに、指やストラップが掛からないようにしてください。指やストラップが掛かると、適正な明るさ（露出）で撮影ができないことがあります。

! 液晶モニターの下端に明るさのムラがありますが、故障ではありません。撮影した画像には影響はありません。
! レンズが汚れていないか確認してください。汚れている場合は89ページを参照してレンズをきれいにしてください。
! 雪のときやほこりの多い環境でストロボ撮影すると、ストロボ光が雪やほこりに反射して画像に白点が写ることがあります。ストロボOFFでの撮影をお試しください。

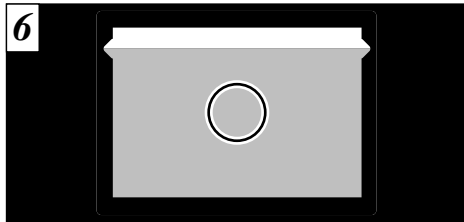
4

被写体を大きく写したいときは、“▲”（望遠）を押します。広い範囲を写したいときは、“▼”（広角）を押します。このとき液晶モニターに“ズームバー”が表示されます。

●光学ズーム焦点距離（35mmカメラ換算）
約38mm～114mm相当
最大ズーム倍率 3倍

! 光学ズームとデジタルズーム（➡28ページ）の切り換わり時は、いったんズームが止まります。もう一度同じ方向に押すと切り換わります。

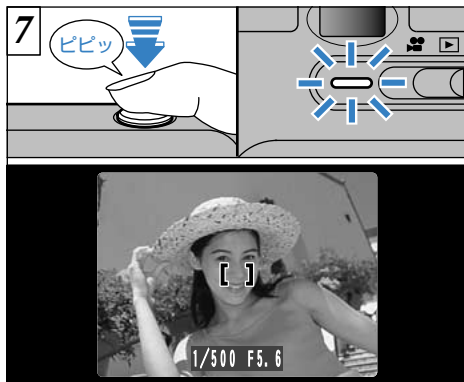
5

液晶モニターまたはファインダーを使って、被写体がAF（オートフォーカス）フレーム全体を満たすようにねらいます。

❗被写体がAFフレームから外れてしまう場合は、AF/AEロック撮影を行ってください（➡25ページ）。

6

ファインダー撮影では、被写体までの距離が約0.6m～1.5mの場合、図の□の部分が撮影されます。

❗撮影範囲の中心を正確に合わせたい場合は、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

❗明るい屋外や薄暗いシーンなどでは、液晶モニターで被写体が確認しにくいことがあります。その場合は、ファインダーの使用をおすすめします。

❗撮影前に液晶モニターで見る画像と実際に記録される画像は、明るさや色などが異なる場合があります。必要に応じて、再生してご確認ください（➡33ページ）。

シャッターボタンを半押しすると、“ピピッ”と音が鳴りピントが合います（ファインダーランプ[緑]が点滅から点灯）。そのとき液晶モニターのAFフレームが小さくなり、シャッタースピード/絞り値が決定されます。

- “ピピッ”と音が鳴らずに液晶モニターに“!AF”が表示されたときは、ピントが合っていません。
- シャッターボタンを半押しすると、一時的に画面の映像が止まりますが記録される画像とは異なります。
- “!AF”が表示された場合（暗くてピントが合わないなど）、被写体から2m程度離れて撮影してください。

半押しのままさらにシャッターボタンを押し込む（全押しする）と、“カシャ”と音が鳴り撮影されます。続いて画像が記録されます。

- “ピピッ”や“カシャ”等の操作音を大きくしたり、消したい場合は、SET−UPメニュー（➡76、77ページ）で設定できます。
- シャッターボタンを押した瞬間から、一瞬遅れて撮影されますので、必要に応じて再生してご確認ください。
- シャッターボタンをいっきに全押しするとAFフレームは変化せず、そのまま撮影されます。
- 撮影するとファインダーランプが橙色に点灯し（撮影不可）、その後緑色に変わると撮影できます。
- ストロボ充電中はファインダーランプが橙色に点滅します。液晶モニターがONの場合は一瞬黒い画面になる場合がありますが、異常ではありません。
- 警告表示については95〜97ページをご参照ください。

■ファインダーランプ表示について

表　示	状　態
緑点灯	準備完了（撮影可能）
緑点滅	AF・AE動作中または手ブレ、AF警告（撮影可能）
緑・橙の交互点滅	スマートメディアに記録中（撮影可能）
橙点灯	スマートメディアに記録中（撮影不可）
橙点滅	ストロボ充電中（ストロボ発光しません）
赤点滅	●スマートメディアについての警告 未挿入、未フォーマット、フォーマット異常、ライトプロテクトシールがはられている、空き容量がない、スマートメディア異常 ●レンズ動作異常

＊液晶モニターに詳しい警告が表示されます（➡95〜97ページ）。

◆オートフォーカスの苦手な被写体◆

このカメラは、正確なオートフォーカス機構を採用していますが、次のような条件・被写体に対してはオートフォーカスが働きにくく、ピントが合わない状態で撮影されることがあります。

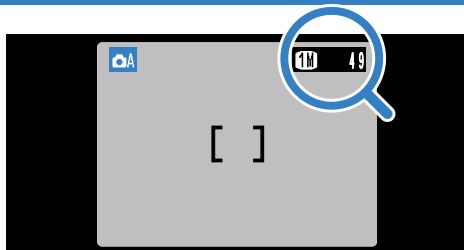
- ●鏡・車のボディなど光沢があるもの
- ●ガラス越しの被写体
- ●髪の毛や毛皮のように光を反射しにくいもの
- ●煙や炎などのように実体のないもの
- ●被写体が暗いとき
- ●被写体の明暗差がはっきりしないとき（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- ●高速で移動する被写体
- ●AFフレーム付近に主被写体の他に明暗差がはっきりしている被写体が手前や後方にあるとき（コントラストの強い背景の前の人物など）

このような場合にはAF/AEロック（➡25ページ）をお使いください。

撮影可能枚数について

液晶モニターに撮影可能枚数が表示されます。

ピクセル設定の変更は、42ページをご参照ください。

工場出荷時の“ ”ピクセルは1Mです。

■スマートメディア™標準撮影枚数

被写体によって記録されるデータ量が一定ではないため、記録後の撮影可能枚数が減らないか、または2コマ減る場合があります。また、実際の撮影枚数はスマートメディアの容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル（画質）	4M 4M・F	4M 4M・N	2M 2M	1M 1M	03M 0.3M
記録画素数	2304×1728（約398万）		1600×1200（約192万）	1280×960（約123万）	640×480（約31万）
画像1枚のファイルサイズ	約1.6MB	約790KB	約390KB	約320KB	約130KB
MG-4S（4MB）	2	4	9	12	30
MG-8S（8MB）	4	9	19	25	61
MG-16S（16MB）	9	19	39	49	122
MG-32S（32MB）	20	39	79	99	247
MG-64S（64MB）	40	79	159	198	497
MG-128S（128MB）	81	159	319	398	997

＊新しいスマートメディアをカメラでフォーマットした状態で表示される撮影可能枚数です。

AF/AEロック撮影

このような構図では被写体(この場合は人物)がAFフレームから外れています。このまま撮影すると人物にピントが合いません。

被写体がAFフレームに入るようにカメラを少し動かします。

次ページにつづく

◆AF(オートフォーカス)/AE(オートエクスポージャー)ロック◆

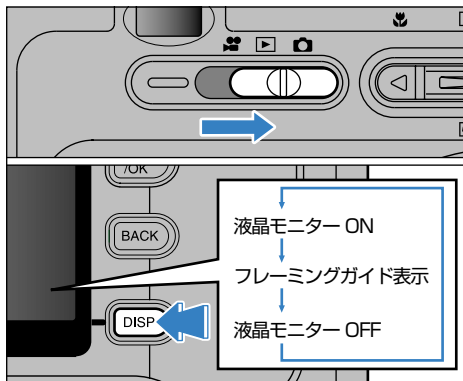
このカメラでは、シャッターボタンを半押しするとピントと露出を固定(AF/AEロック)します。液晶モニターの端の被写体にピントを合わせたり、露出を決めてから構図を変えたい場合には、AF/AEロックをしてから構図を変えて撮影すると、きれいに撮影できます。

AF/AEロック撮影

そのままシャッターボタンを半押し（AF/AEロック）します。液晶モニターのAFフレームが小さくなり、ファインダーランプ［緑］が点滅から点灯するのを確認します。

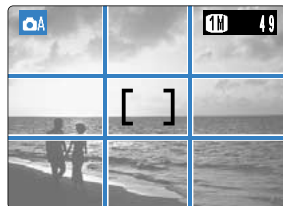
シャッターボタンを半押し（AF/AEロック）のまま最初の構図に戻して、さらにシャッターボタンを押し込みます。

❗ AF/AEロック操作は、シャッターを切る前なら何回でもやり直せます。
❗ AF/AEロック撮影は、どのような撮影方法でも有効です。AF/AEロックをうまく活用しましょう。

📷 モード ベストフレーミング機能

“📷” 静止画撮影モードで設定できます。
“DISP” ボタンを押すごとに液晶モニターの表示が切り換わります。“DISP” ボタンを押して “フレーミングガイド” を表示します。

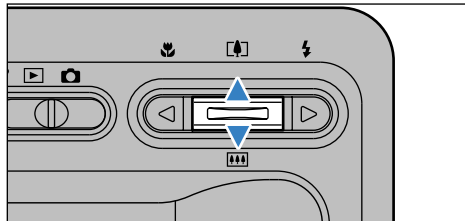
! フレーミングガイドは画像に記録されません。
! 縦横3分割フレームのラインは、縦横の記録画素数の3分割の目安です。プリントすると3分割の位置から少しずれる場合もあります。

縦横3分割フレーム

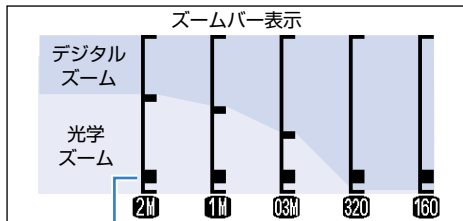
主要な被写体を縦横の交点に配置したり、横のラインに地平線や水平線を合わせて使用します。被写体の大きさやバランスを見ながら、意図的な構図で撮影できます。

◆重要◆

必ずAF/AEロックを使って構図を決めてください。AF/AEロックをしないとピントが合わないことがあります。

2

📷/🎥 モード ズームの仕方

ズームボタンで光学ズームできます。さらに、ピクセル設定が“2M・1M・03M・動画（320・160）”の場合はデジタルズームできます。ただし、液晶モニターを使用した撮影でのみ有効です。

●デジタルズーム焦点距離（35mmカメラ換算）

2M　：約114mm〜約164mm相当
　　　最大ズーム倍率 1.44倍
1M　：約114mm〜約205mm相当
　　　最大ズーム倍率 1.8倍
03M　：約114mm〜約410mm相当
　　　最大ズーム倍率 3.6倍
320　：約38mm〜約137mm相当
　　　最大ズーム倍率 3.6倍
160　：約38mm〜約274mm相当
　　　最大ズーム倍率 7.2倍

ズームバーの“■”の位置でズームの状態が分かります。

●区切りより上の場合はデジタルズーム、区切りより下の場合は光学ズームです。

●“▲▼”を押すと“■”が上下に動きます。

●デジタルズームと光学ズームを切り換える際に、いったん“■”が停止します。もう一度同じ方向に押すと、“■”が動いて切り換わります。

! “4M”では、デジタルズームはできません。

! 高感度撮影（ISO800、1600）ではデジタルズームできません。

! ピクセルの変更（➡42、53ページ）。

! ズームしてピントがずれた場合、シャッターボタンを半押ししてください。

! 光学ズームは約38mm〜約114mm相当（35mmカメラ換算）です。

📷 モード 🌷 マクロ（近距離）

マクロを設定すると近距離撮影ができます。

●撮影可能距離：約10cm〜約80cm

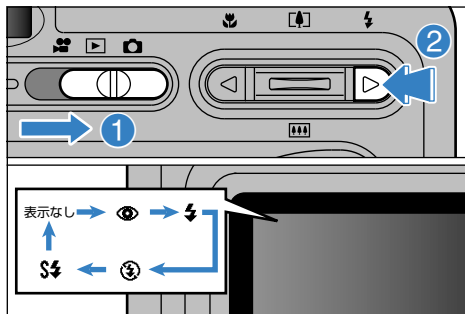
❶モードスイッチを“📷”に合わせます。❷“🌷”マクロボタン（◀）を押します。液晶モニターに“🌷”が表示され、近距離撮影ができます。
マクロを解除するには、もう一度“🌷”マクロボタン（◀）を押します。

! 液晶モニターが自動的にONになります。
! 液晶モニターをOFFにすることはできません。
! マクロを解除しても液晶モニターはONの状態のままです。

! マクロ撮影は、次のとき自動的に解除されます。
- 撮影モードを切り換えたとき
- 電源が切れたとき

! 設定すると“🌷”が一瞬大きく表示されます。
! ストロボを発光させる場合は“▶”を押して、“⚡”強制発光または“S⚡”スローシンクロに設定してください（31、32ページ）。ただし、適正な明るさ（露出）で撮影できない場合があります。
! 暗い場所で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします（“!✋”手ブレ警告が表示されているとき）。

マクロでファインダーを使うと、ファインダー窓とレンズの位置が違うため、実際に見える範囲と写る範囲にズレが生じます。そのため、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

2

⚡ストロボ

撮影の目的に合わせて5種類のストロボ撮影が選べます。❶モードスイッチを"📷"に合わせます。❷"⚡"ストロボボタン(▶)を押すたびに、ストロボの設定が切り換わり、最後に表示したストロボ撮影が選択されます。

●ストロボ撮影可能距離(📷Aオート時)
広角側：約0.4m〜約3.5m
望遠側：約0.4m〜約2m

❗設定するとストロボ表示が一瞬大きく表示されます。
❗雪のときやほこりの多い環境でストロボ撮影すると、ストロボ光が雪やほこりに反射して画像に白点が写ることがあります。ストロボOFFでの撮影をお試しください。

オートストロボ(表示なし)

一般的な撮影に使用します。撮影状況に応じて、ストロボが自動的に発光します。

❗バッテリーの残容量が少ない場合、ストロボ充電時間が長くなることがあります。
❗ストロボ撮影をした場合、充電するために映像が消えて黒い画面になることがあります。このときファインダーランプが橙色の点滅をします。

赤目軽減ストロボ

暗いところでひとみを自然に撮りたいときに使用します。
撮影前にストロボがプレ発光し、次に撮影のためのストロボが発光します。

強制発光ストロボ

窓際や木陰などの逆光撮影、蛍光灯などの照明の下で適正な色に撮りたいときに使用します。
明るいところでもストロボ撮影が行われます。

◆赤目現象について◆

人物を暗いところでストロボ撮影した場合、目が赤く写ることがあります。これは、ストロボの光が目の中で反射することにより起こる現象です。赤目を起こりにくくするために、赤目軽減ストロボを積極的にご利用ください。赤目軽減ストロボを使用するとともに、

- 撮られる人にカメラの方に視線を向けてもらう
- なるべく近づいて撮影する

などするとより効果的です。

ストロボ発光禁止

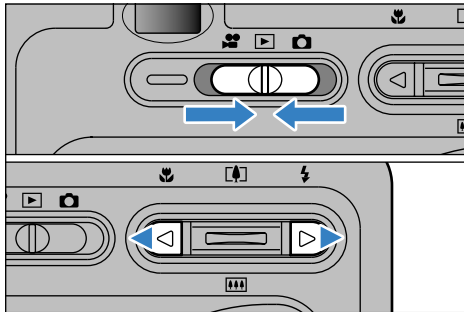
室内照明を利用しての撮影、ガラス越しの撮影、舞台や室内競技などのストロボ光が届かない距離での撮影などに使用します。
この場合、オートホワイトバランス（➡103ページ）が働き、周囲光の雰囲気を残しつつ自然な色に撮影できます。

S スローシンクロ

スローシャッター（最低シャッター速度：1/4秒まで）でストロボ発光します。夜景と人物をきれいに撮影できます。

- 暗い場所でストロボ発光禁止で撮影する場合は、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。
- 手ブレ警告については、23、95ページをご参照ください。

- 明るい撮影シーンでは露出オーバーになることがあります。
- スローシャッターになりますので、手ブレ防止のため三脚の使用をおすすめします。

▶ モード 画像を見るには（再生）

モードスイッチを“▶”に合わせます。
“▶”順送り、“◀”逆送りで画像を見ることができます。

❗モードスイッチを“▶”に合わせたときは、最後に撮影した画像が再生されます。
❗再生時にレンズが出ているときは、約6秒間操作しないとレンズ保護のため、レンズが格納されます。

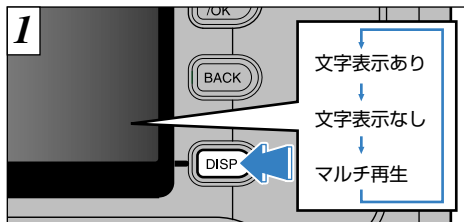
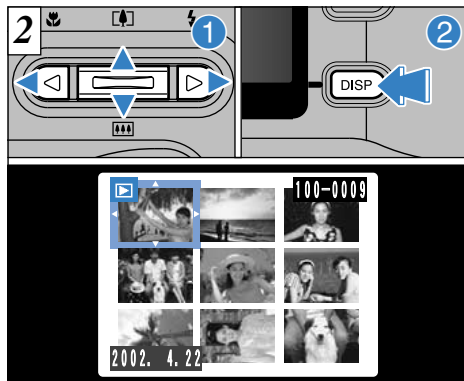
画像の早送り

再生中に“◀”または“▶”を約1秒間押し続けると、画像を早送りできます。

❗スマートメディア内のおおよその再生位置が、目安となるバーで表示されます。

◆再生できる静止画について◆

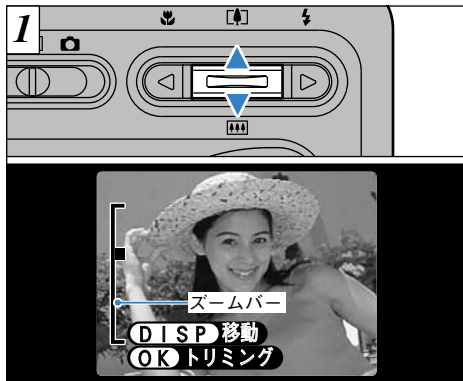
本機で記録した静止画、または弊社製デジタルカメラ FinePixシリーズ、CLIP-IT80/50、DS-30/20/10およびDS-260HD/250HD/230HD、あるいはそのほかのDCF対応カメラで、3.3V仕様のスマートメディアに記録した静止画（非圧縮を除く）が再生できます。

▶ モード マルチ再生

再生モードでは“DISP”ボタンを押すごとに液晶モニターの表示が切り換わります。“DISP”ボタンを押してマルチ再生(9コマ)にします。

❶“▲▼◀▶”でカーソル(橙色の枠)を動かして、コマを選べます。数回“▲”か“▼”を押すと次のページに切り換わります。

❷もう一度“DISP”ボタンを押すと、選んだ画像を大きく表示することができます。

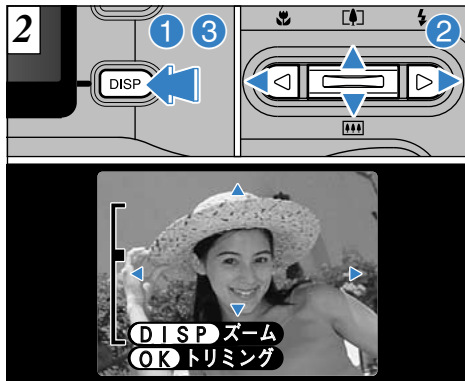
! 液晶モニターの文字表示は約3秒後に消えます。

! 再生ズーム中はマルチ再生はできません。

再生ズーム

1コマ再生中に“▲▼”を押すと静止画をズーム(拡大)します。このとき“ズームバー”が表示されます。また、下にガイダンス(案内)が表示されます。

●ズーム倍率

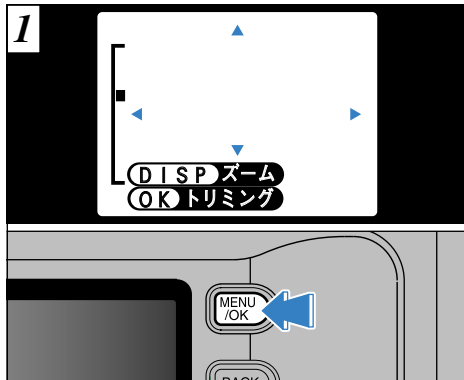
4M 2304×1728ピクセル画像：最大14.4倍
2M 1600×1200ピクセル画像：最大 10倍
1M 1280× 960ピクセル画像：最大 8倍
03M 640× 480ピクセル画像：最大 4倍

ズーム中に“◀▶”を押すと、ズームが解除され次の画像に送られます。

ズームしたあとに、

①“DISP”ボタンを押します。
②“▲▼◀▶”を押すと、見える範囲を移動できます。
③もう一度、“DISP”ボタンを押すとズームに戻ります。

“BACK”ボタンを押すと画像が等倍に戻ります。

次ページにつづく

トリミング保存

再生ズームを利用後、“MENU/OK” ボタンを押してトリミングします。

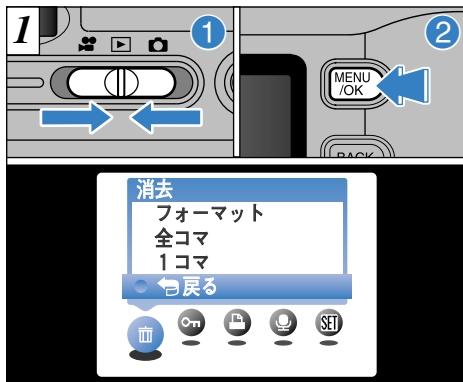
ズーム倍率によって保存される画像サイズが変わり、0.3Mになる場合は “OK トリミング” の文字が黄色になります。
さらに0.3M以下になると “OK トリミング” 表示が消えます。

保存されるサイズを確認し、“MENU/OK” ボタンを押します。トリミングした画像は最後のコマに別ファイルで追加されます。

■画像サイズについて

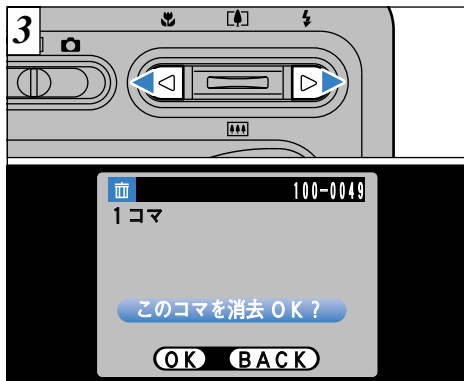
2M	プリントに適しています。
1M	プリントに適しています。
03M	プリント時の画質が低下するため、トリミングの文字が黄色になります。

＊ 03M 以下はプリントに適さないため、トリミングの文字が消えトリミング保存できません。

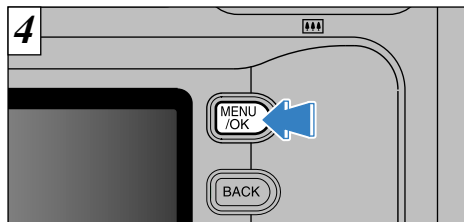
▶ モード 画像を消すには（1コマ消去）

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押すとメニューが表示されます。

“🗑”消去の“1コマ”を選んだ状態で“MENU/OK”ボタンを押します。
全コマ、フォーマットについて詳しくは56ページをご参照ください。

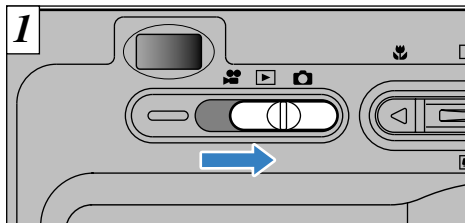
❗“戻る”を選んで“MENU/OK”ボタンを押すと、消去せずに再生に戻ります。

画像を消すには（1コマ消去）

“◀▶”を押して消去したいコマ（ひとつのファイル）を表示します。

❗ 1コマ消去をやめたい場合は、“BACK”ボタンを押してください。

誤って画像を消去すると、元に戻せません。ご注意ください。消去したくない重要なファイルは、パソコンなどにコピーしてください。

“MENU/OK”ボタンを押すと、表示中のコマ（ひとつのファイル）が消去されます。消去が終わると次の画像が再生され、“このコマを消去 OK ?”が表示されます。

消去を続けるには、3、4の操作を繰り返します。

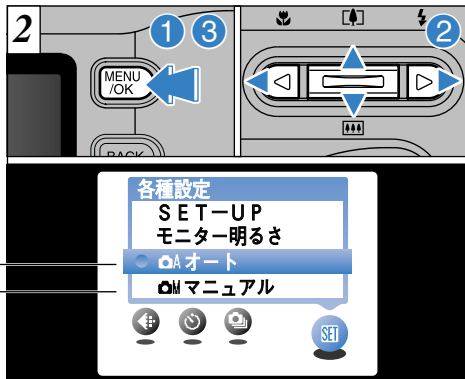
📷モード 📷Aオート/📷Mマニュアルの切り換え

モードスイッチを“📷”に合わせます。

ムービー（動画）の撮影については50ページをご参照ください。

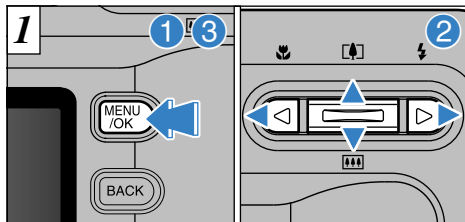
📷A オート

最も簡単に撮影できる撮影用途の広いモードです。

📷M マニュアル

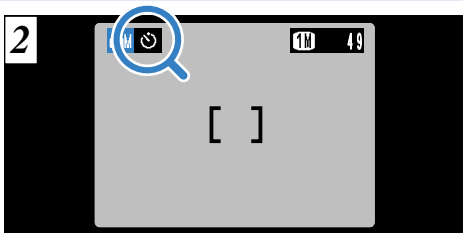
“アカルサ・ホワイトバランス・感度”を設定できるモードです。

❶“MENU/OK”ボタンを押して、メニューを表示します。
❷“◀▶”で“SET”各種設定を選び、“▲▼”で“📷A”オートか“📷M”マニュアルを選びます。
❸“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

撮影メニューの操作/撮影メニュー一覧

撮影メニューの操作

❶ “MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。
❷ “◀▶” でメニューを選びます。“▲▼” で設定を変更します。
❸ “MENU/OK” ボタンを押して決定します。

撮影メニュー一覧

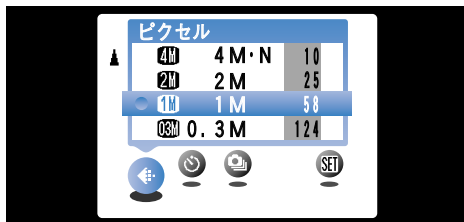
WB ホワイトバランス	アカルサ	ISO 感度
使用できるモード M		
工場出荷設定：AUTO	工場出荷設定：0	工場出荷設定：200
詳細は➡49ページ	詳細は➡48ページ	詳細は➡47ページ

“M”マニュアル撮影時：ピクセルまたは、感度でさらに “◀▶” を押すとページが切り換わります。

設定を有効にすると液晶モニター左上にアイコンが表示されます。

! 撮影モードにより設定可能撮影メニューは変わります。

ピクセル	セルフタイマー	連写	各種設定
ピクセル 4M 4M·N 10 2M 2M 25 1M 1M 58 03M 0.3M 124	セルフタイマー ON OFF	連写 サイクル連写ON 連写ON OFF	各種設定 SET−UP モニター明るさ A オート M マニュアル
使用できるモード A・M・	使用できるモード A・M	使用できるモード A・M	使用できるモード A・M・
工場出荷設定: 1M() 320()	工場出荷設定：OFF	工場出荷設定：OFF	——
詳細は➡42、53ページ	詳細は➡43ページ	詳細は➡45ページ	詳細は➡76ページ

ピクセル(静止画の記録画素数)

※メニューの表示方法(➡40ページ)

"A"、"M"の撮影モードで設定できます。
5種類の設定から選べます。右の表を目安にお試しいただき、目的に応じた設定をしてください。

用途	ピクセル
プリント向け ↕ インターネット向け	4M 4M・F (2304×1728) 4M 4M・N (2304×1728) 2M 2M (1600×1200) 1M 1M (1280×960) 03M 0.3M (640×480)

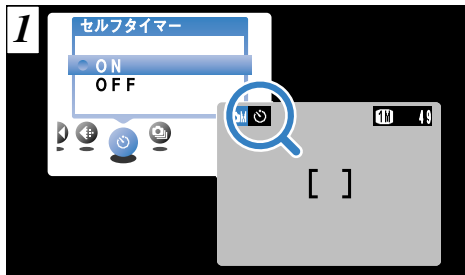
<設定例>

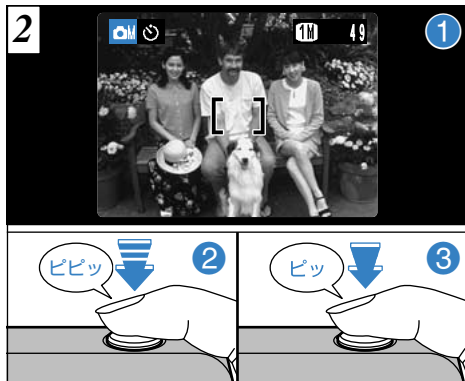
- A5サイズ以上にプリントする場合 → 4M 4M・F または 4M 4M・N
  ＊画質を優先する場合は"F"(FINE)を、枚数を優先する場合は"N"(NORMAL)を選んでください。通常は"N"(NORMAL)で十分な画質が得られます。
- A6(はがきサイズ)～A5程度にプリントする場合 → 2M 2M
- A7(はがきの半分のサイズ)～A6程度にプリントする場合→ 1M 1M
- 電子メールへの画像添付やホームページでの利用 → 03M 0.3M

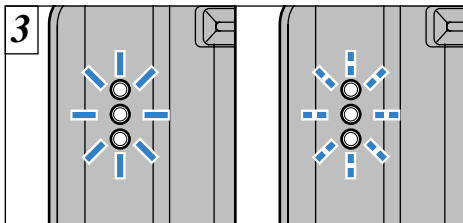
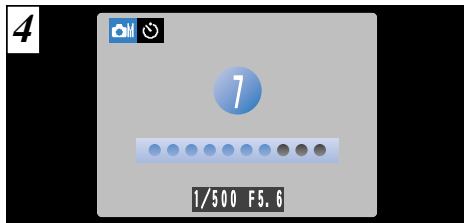
! 各設定の右側の数値は、撮影可能枚数です。
! ピクセル設定を変更すると、撮影可能枚数が変わります。

! ムービー(動画)のピクセル設定は、53ページをご参照ください。

セルフタイマー

※メニューの表示方法(➡40ページ)

“A”、“M”の撮影モードで設定できます。
セルフタイマーをONにすると、液晶モニターに“⏲”が表示されます。
約10秒間のセルフタイマー撮影です。撮影者自身を撮影する場合などに使用します。

- セルフタイマーは、次のときに自動的に解除されます。
  - 撮影が完了したとき
  - “A”、“M”を切り換えたとき
  - モードスイッチを切り換えたとき
  - 電源が切れたとき
- AF/AEロック撮影も可能です(➡25ページ)。
- レンズの前に立ってシャッターボタンを押さないでください。ピンボケになったり、適正な明るさ(露出)にならないことがあります。

①AFフレームを被写体に合わせます。
②シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。
③半押しのまま、さらにシャッターボタンを押し込むと(全押し)、セルフタイマーが開始されます。

次ページにつづく

セルフタイマーランプが約5秒間点灯したのち点滅に変わり、さらに約5秒後に“カシャ”と音が鳴り撮影されます。

撮影されるまでの間、液晶モニターにカウントダウン(秒読み)表示されます。
セルフタイマーは撮影ごとに自動的に解除されます。

開始したセルフタイマー撮影は、“BACK”ボタンを押すと解除できます。

連写

“A”、“M”の撮影モードで設定できます。
使用する連写モードを選びます。
各連写モードについては、46ページをご参照ください。

連写ON時は、液晶モニターに“ ”が表示されます。サイクル連写ON時は、液晶モニターに“ ”が表示されます。
シャッターボタンを全押ししている間、連写します。

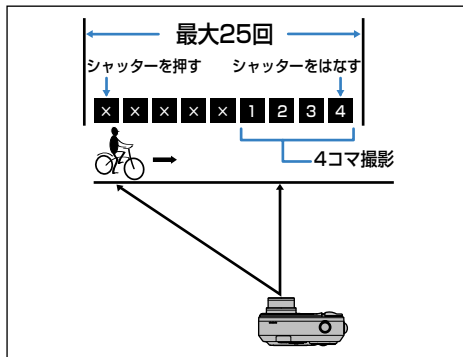
- 撮影中は液晶モニターに“撮影中”と表示されます。
- ストロボ撮影はできません。
- どのピクセル設定でも連写速度は変わりません。
- ファインダー撮影をおすすめします。
- 撮影画像確認（➡77ページ）をOFFにしても撮影結果が表示されます。
- ファイル記録時間は、“1M”の画像で約8秒です（4コマ連写した場合）。

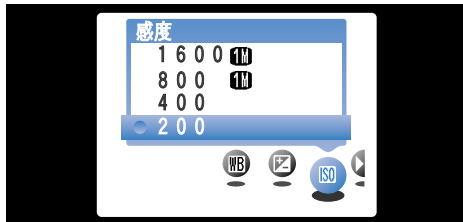
- ピント、露出は1コマ目の撮影時に決定され、途中で変化しません。
- スマートメディアの空き容量が最大連写枚数に足りないときは、記録可能な枚数分撮影されます。

次ページにつづく

連写

最短約0.3秒間隔で最大4コマ連写できます。撮影すると撮影結果が表示され、自動的に保存されます。

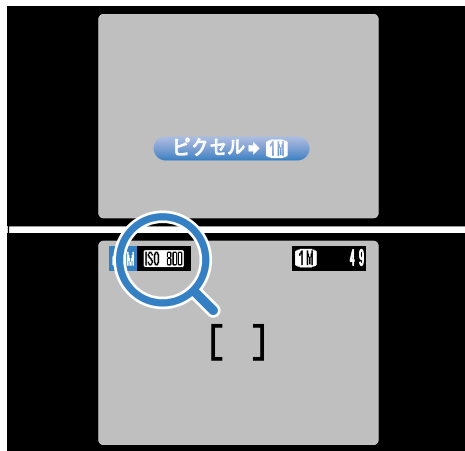
サイクル連写

最大25回（最短約0.3秒間隔）シャッターを切ったうちの最後の4コマを記録します。25回に到達する前にシャッターボタンから指をはなしたときは、シャッターボタンから指をはなした直前の4コマが記録されます。
スマートメディアの容量が不足しているときは、シャッターボタンから指をはなした直前の、記録可能な枚数分撮影されます。

※ A/ Mの切り換え (➡39ページ)
メニューの表示方法(➡40ページ)

"M" の撮影モードで設定できます。
室内の撮影などで、ストロボを使わずに明るく撮影したい場合や、高速シャッターを切りたいとき(手ブレ防止など)に使用します。

●設定値：200・400・800・1600

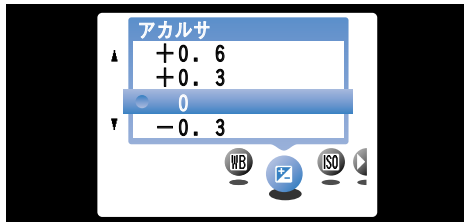
- 感度の設定値が大きくなるほど、より暗いところでの撮影ができるようになりますが、画像に粒子状のノイズが増えます。
  また、夜空等のシーンではスジ状のノイズが見える場合もあります。
  状況に応じて、感度設定を使い分けてください。
- 高感度に設定すると、撮影前に液晶モニターで見る画像もノイズが増えますが、故障ではありません。
- 高感度撮影では、デジタルズームできません。

高感度設定時、撮影モードを "M" マニュアル以外に合わせると、ピクセル設定は感度を設定する直前の設定に戻ります。

高感度撮影(800・1600)

高感度(800・1600)に設定すると、液晶モニターに "ISO 800" または "ISO 1600" が表示され、自動的にピクセル設定が "1M" に設定されます。
高感度設定時、ピクセル設定を "1M" 以外に変更しようとすると、"ISO 800" または "ISO 1600" が点滅表示され、変更できません。

3

アカルサ(露出補正)

※A/Mの切り換え(➡39ページ)
メニューの表示方法(➡40ページ)

“M”の撮影モードで設定できます。
被写体と背景のコントラスト(明暗の差)がきわめて大きい場合など、適正な明るさ(露出)が得られないときに使用します。

●補正範囲:13段階
(−2.1EV〜+1.5EV, 約0.3EVステップ)
EVについては102ページをご参照ください。

◆次のような被写体のとき効果があります◆

+(プラス)補正の目安

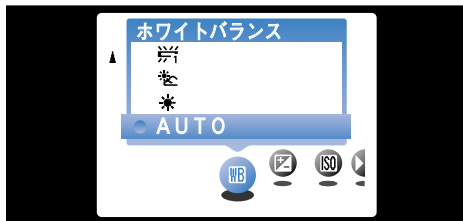
●白っぽい紙に黒い文字の印刷物の複写:+1.5EV
●逆光の人物撮影:+0.6EV〜+1.5EV
●スキー場などの明るい場面や反射の強い場合:+0.9EV
●液晶モニター内を空の部分が大きく占める場合:+0.9EV

−(マイナス)補正の目安

●スポットライトを浴びた人物、特にバックが暗い場合:−0.6EV
●黒っぽい紙に白い文字の印刷物の複写:−0.6EV
●常緑樹または色の濃い葉など反射率が低い場合:−0.6EV

次のような状態では、無効になります。
- オートまたは赤目軽減でストロボが発光したとき
- 強制発光で撮影シーンが暗いとき

WB ホワイトバランス(光源選択)

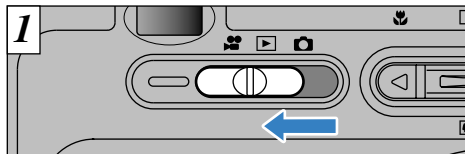
※ A/ Mの切り換え(➡39ページ)
メニューの表示方法(➡40ページ)

“ M” の撮影モードで設定できます。
撮影時の環境・照明光に合わせ、ホワイトバランスを固定して撮影を行いたい場合に設定を変更します。
AUTO時は、人物の顔アップなどの被写体や特殊な光源下では、正しいホワイトバランスが得られない場合があります。その場合は光源に合わせたホワイトバランスを選択してください。
ホワイトバランスについては103ページをご参照ください。

AUTO：自動調整
(光源の雰囲気を残した撮影)
☀：晴れた屋外での撮影
：日陰での撮影
1：昼光色蛍光灯下での撮影
2：昼白色蛍光灯下での撮影
3：白色蛍光灯下での撮影
：電球、白熱灯下での撮影

＊ストロボ発光時は、ホワイトバランス設定は無効になりますので、意図した撮影の場合ストロボを発光禁止(➡32ページ)にしてください。

3

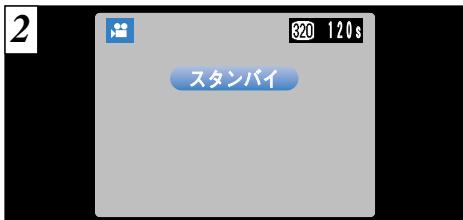
ムービー(動画)

1

モードスイッチを“ ”に合わせます。
“ ”ムービー(動画)は最長120秒(320設定時)/480秒(160設定時)の音声付き動画が撮れるモードです(ピクセル設定➡53ページ)。

●撮影形式:Motion JPEG 形式(➡102ページ)
320(320×240ピクセル)、
160(160×120ピクセル)
切り換え式
10フレーム/秒
モノラル音声付き

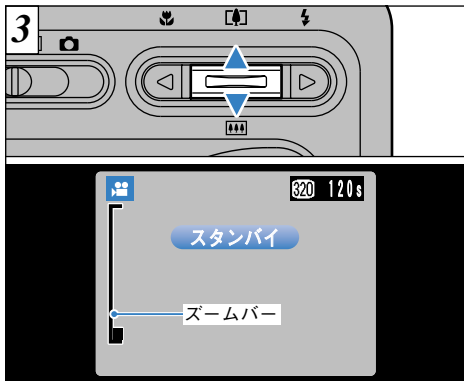
! 音声が同時に記録されるので、指などでマイク(➡6ページ)をふさがないようご注意ください。
! スマートメディアの空き容量によっては、一回の撮影時間が短くなることがあります。
! 液晶モニターをOFFにすることはできません。

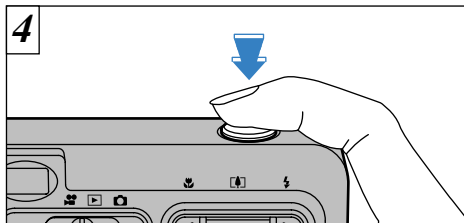
本機以外のカメラでは再生できない場合があります。

2

液晶モニターに撮影可能時間と“スタンバイ”が表示されます。

■スマートメディア標準撮影可能時間

スマートメディア容量	ピクセル	
	320	160
MG-4S(4MB)	約24秒	約83秒
MG-8S(8MB)	約49秒	約169秒
MG-16S(16MB)	約98秒	約337秒
MG-32S(32MB)	約199秒	約679秒
MG-64S(64MB)	約400秒	約1365秒
MG-128S(128MB)	約802秒	約2735秒

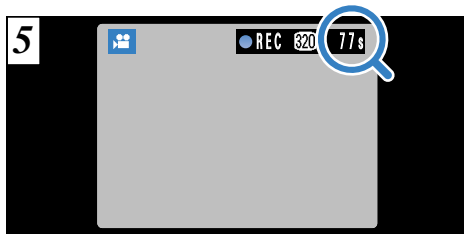
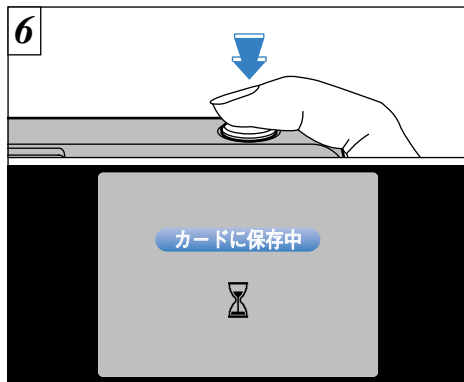
＊新しいスマートメディアをカメラでフォーマットした状態で表示される撮影可能時間です。

ムービー（動画）撮影ではレンズが広角側に固定され、デジタルズームのみになります。“▲▼/ズーム”ボタンでズームできます。液晶モニターに“ズームバー”が表示されます。

●デジタルズーム焦点距離（35mmカメラ換算）
320　：約38mm〜約137mm相当
最大ズーム倍率 3.6倍
160　：約38mm〜約274mm相当
最大ズーム倍率 7.2倍

シャッターボタンを全押しすると撮影が開始されます。

- 動画撮影中に被写体の明るさが変化すると、絞り動作音が記録されることがあります。
- 動画撮影中に操作音が記録されることがあります。
- シャッターボタンを押し続ける必要はありません。
- ピントは約2m〜無限遠の固定になります。
- 撮影中はピント、ホワイトバランスは固定されますが、露出はシーンに応じて自動的に変化します。
- 撮影前に液晶モニターで見る画像と動画記録中の液晶モニターの画像は、明るさや色などが異なる場合があります。

ホワイトバランスはシャッターボタンを全押しすると、自動的に設定されます。

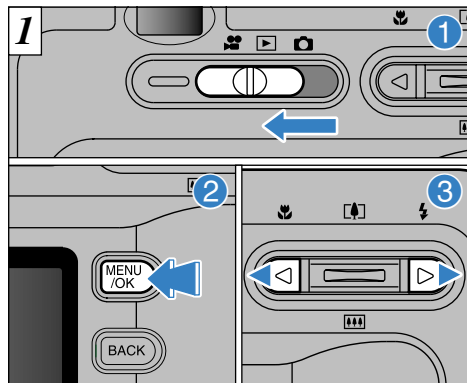
3

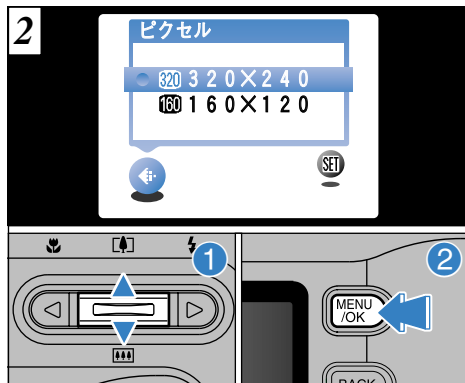
次ページにつづく

撮影中は、液晶モニター右上に残り時間をカウントダウン表示します。

撮影中にもう一度シャッターボタンを押すと撮影を終了し、スマートメディアへ記録します。

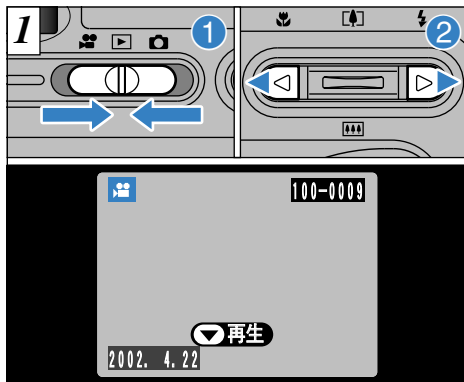
❗残り時間がなくなると自動的に録画が終了し、スマートメディアに記録されます。

❗約120秒の動画（約20MB）のスマートメディアへの記録時間は約14秒です。

❗撮影開始後すぐに終了しても、約1秒間だけ撮影されます。

動画のピクセル設定について

❶モードスイッチを “🎥” に合わせます。
❷“MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。
❸“◀▶” で “⇠” ピクセルを選びます。

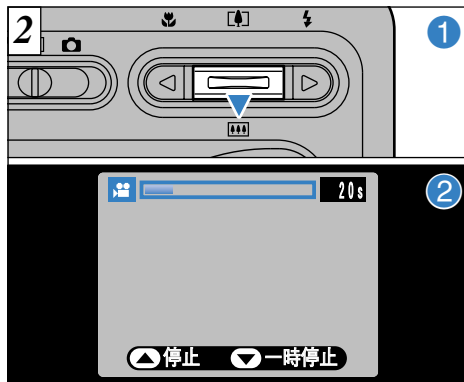
2種類の動画サイズを選べます。画質を優先する場合は “320” を、撮影時間を長くする場合は “160” を選びます。

❶“▲▼” でピクセルを変更します。
❷“MENU/OK” ボタンを押して決定します。

	動画サイズ	最長撮影時間
320	320×240	120秒
160	160×120	480秒

▶ モード ムービー(動画)再生

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“◀▶”でムービー(動画)ファイルを選びます。

2

❶“▼”を押すと再生されます。
❷液晶モニターに再生時間とバーが表示されます。

❗マルチ再生ではムービー(動画)再生できません。“DISP”ボタンで通常再生にしてください。

“🎥”のアイコンで表示されます。

❗スピーカーをふさがないでください。
❗音が聴き取りにくい場合は、音量調節をしてください(➡75ページ)。
❗高輝度の被写体を撮影した場合、再生時に縦に白いスジが入ることがありますが故障ではありません。

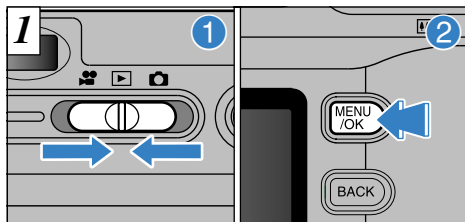
■ムービー（動画）再生操作方法

	操　作	説　明
再生	▼	再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除	▼	再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止	▲	再生を停止します。 ※停止中に“◀▶”を押すと次のファイルに送られます。
早送り/巻き戻し	◀ ▶	再生中に操作すると早送り/巻き戻しします。
コマ送り	◀ ▶ 一時停止中	●一時停止中に“◀”または“▶”を押すたびに1コマずつ送られます。 ●押し続けると速く送られます。

＊パソコンでの再生については別冊：ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

◆再生できるムービーファイルについて◆

本機で記録したムービーファイル、または弊社製デジタルカメラで3.3V仕様のスマートメディアに記録した320×240ピクセルで120秒までのムービーファイル（10フレーム/秒）が本機で再生できます。ただし、FinePix F601/S602で記録したムービー（動画）は再生できません。

4

🗑 消去　1コマ・全コマ/フォーマット

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

“◀▶”で“🗑”消去を選びます。

❶“▲▼”で“1コマ”、“全コマ”または“フォーマット”を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

フォーマット

すべてのファイルを消去します。
スマートメディアをカメラ用に初期化します。
消去したくない重要なファイルは、パソコンなどにコピーしてください。

全コマ

プロテクトされていないすべてのファイルを消去します。消去したくない重要なファイルは、パソコンなどにコピーしてください。

1コマ

選んだファイルだけを消去します。

戻る

消去せずに再生に戻ります。

次ページにつづく

消去　1コマ・全コマ/フォーマット

1コマ

❶“◀▶”で消去するファイルを選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押すと表示中のファイルを消去します。

続けて消去するには❶❷を繰り返します。
消去を終えるには“BACK”ボタンを押します。

“ プロテクトされています ”が表示されるファイルは消去できません。プロテクトを解除してください。

全コマ

“MENU/OK”ボタンを押すとプロテクトされていないすべてのファイルを消去します。

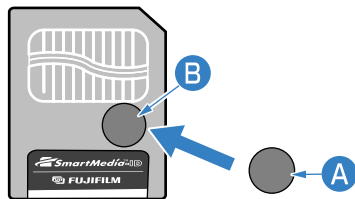
“ プリント予約されています ”が表示された場合、ファイルを消去するには“MENU/OK”ボタンをもう一度押します。

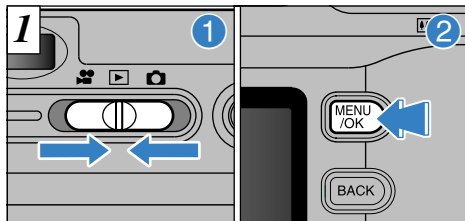
フォーマット

“MENU/OK” ボタンを押すとすべてのファイルが消去され、スマートメディアが初期化されます。プロテクトされているファイルも消去されます。

❗ “カードエラー” “記録できませんでした” “再生できません” “フォーマットされていません” が表示された場合は、フォーマットする前に95～97ページを参照し、対処してください。

スマートメディア™の誤記録防止について

ライトプロテクトシールをはると、画像の記録/消去・フォーマットができません。シールをはがすと通常どおり使用できます。ライトプロテクトシールは、別売のスマートメディアに同梱されています。

＊必ず専用のライトプロテクトシールⒶを、ライトプロテクトエリア内Ⓑに、はみ出さないようにしっかりとはってください。はがしたシールの再利用はできません。
＊シールの端で手を切らないようにご注意ください。
＊シールが汚れていると誤記録防止されないことがあります。
＊スマートメディアについて、詳しくは93、94ページをご参照ください。

再生メニュー プロテクト 1コマ・全コマ

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

“◀▶”で“On”プロテクトを選びます。

プロテクトとは、画像を誤って消去しないように設定することです。ただし“フォーマット”するとすべての画像が消去されます（➡59ページ）。

3

プロテクト
全コマ解除
全コマプロテクト
1コマ設定/解除

MENU /OK

BACK

全コマ解除

すべてのファイルのプロテクトを解除します。

全コマプロテクト

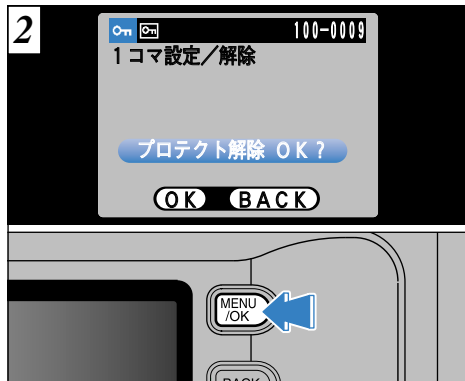
すべてのファイルをプロテクトします。

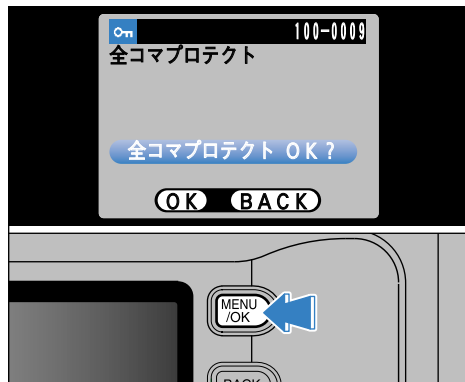
1コマ設定/解除

選んだファイルだけをプロテクトしたり、解除したりします。

❶“▲▼”で“全コマ解除”、“全コマプロテクト”または“1コマ設定/解除”を選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押して決定します。

1コマ設定/解除

❶“◀▶”でプロテクトするファイルを選びます。
❷“MENU/OK”ボタンを押すと表示中のファイルをプロテクトします。
続けてプロテクトするには❶❷を繰り返します。
プロテクトを終えるには“BACK”ボタンを押します。

プロテクトを解除するには、もう一度“MENU/OK”ボタンを押します。

全コマプロテクト

“MENU/OK” ボタンを押すとすべてのファイルがプロテクトされます。

全コマ解除

“MENU/OK” ボタンを押すとすべてのファイルのプロテクトが解除されます。

4

再生メニュー プリント予約について

DPOF（ディーポフ）とはDigital Print Order Format（デジタルプリントオーダーフォーマット）のことで、デジタルカメラで撮影した画像の中から、プリントしたいコマやその枚数などの指定情報をスマートメディア™などに記録するときの形式です。

デジタルカメラ

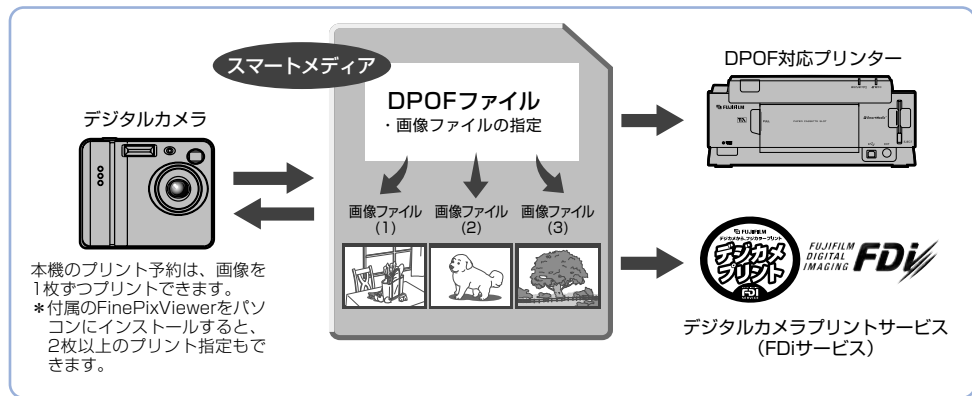
スマートメディア

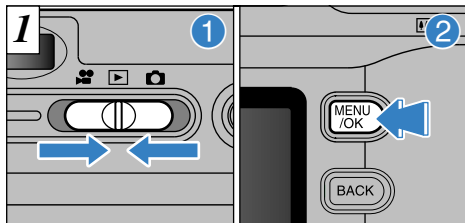
DPOFファイル
・画像ファイルの指定

画像ファイル（1）　画像ファイル（2）　画像ファイル（3）

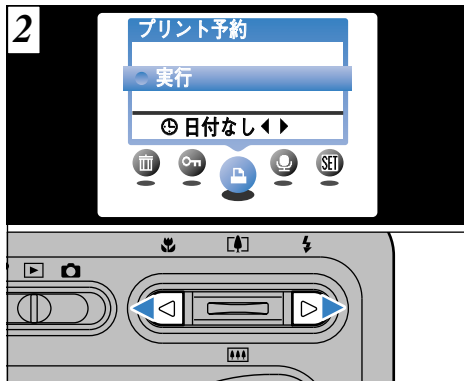
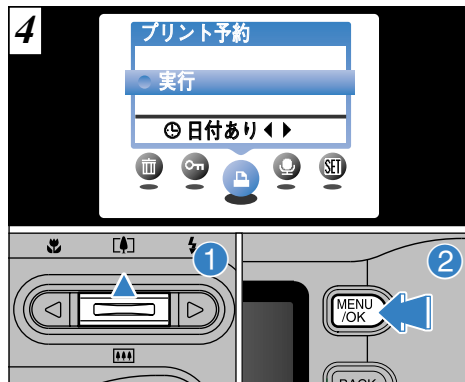
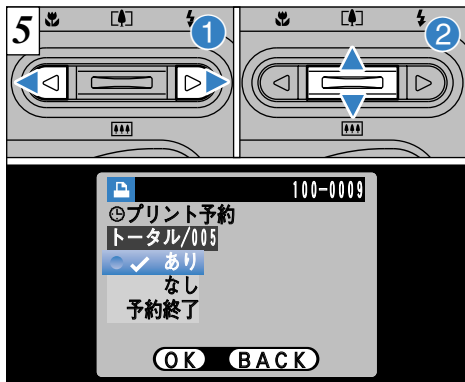
DPOF対応プリンター

デジタルカメラプリントサービス（FDiサービス）

本機のプリント予約は、画像を1枚ずつプリントできます。
＊付属のFinePixViewerをパソコンにインストールすると、2枚以上のプリント指定もできます。

- DPOF対応デジタルカメラ（本機）では上記の情報をカメラの操作でスマートメディア™に記録することができます。
- DPOF情報を記録したスマートメディア™を、フジフイルム デジタルカメラプリントサービス（FDiサービス）取り扱い店にお持ちいただくだけで、指定情報どおりの高画質プリントサービスが受けられます。
- DPOF対応プリンターでは、DPOF情報があれば、指定コマ（画像ファイル）を指定枚数だけ自動的にプリントできます。

再生メニュー プリント予約

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。

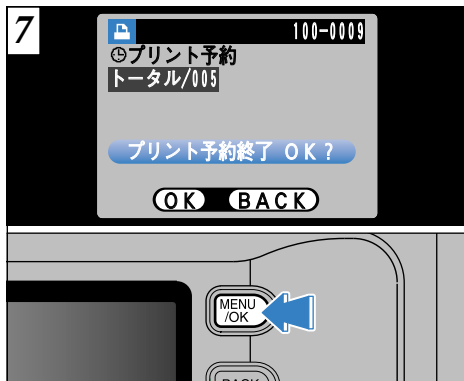
“◀▶”で“”プリント予約を選びます。

次ページにつづく

❶“▲▼”で“◷”日付を選びます。
❷“◀▶”で“日付あり”か“日付なし”を選びます。
プリント予約するすべてのコマに有効です。

❶“▲”を押して“実行”を選択します。
❷“MENU/OK”ボタンを押します。

❶ "◀▶" で設定するコマを表示します。
❷プリントするコマに "▲▼" で "あり" を設定し、
"MENU/OK" ボタンまたは "▶" を押します。
続けて設定するには、❶❷を繰り返します。

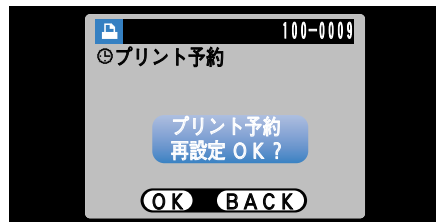
設定が終了したら、必ず"予約終了"を選択して、"MENU/OK"ボタンを押します。
"BACK"ボタンを押すとプリント予約されません。

! ムービー(動画)はプリント予約できません。
! "トータル" はプリント指定したコマ数の合計です。

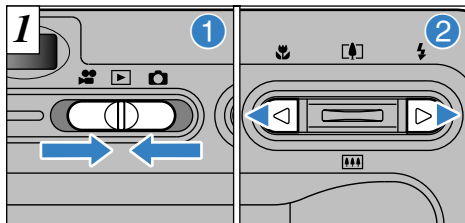
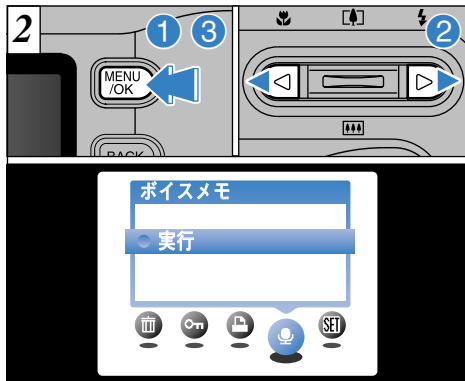
! 指定できるプリント枚数は1コマにつき1枚です。
また、同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。

次ページにつづく

“MENU/OK” ボタンを押すとプリント予約設定が、決定されます。
“BACK” ボタンを押すと設定画面（5）に戻ります。

“MENU/OK” ボタンを押すとすべてが決定されます。

◆プリント予約の変更はできません◆

すでにプリント予約されたコマがある場合は“プリント予約再設定 OK？”と表示されます。
“MENU/OK” ボタンを押すと、すでにプリント予約された設定はすべて消去されます。新たにプリント予約をやり直す必要があります。

❗ “BACK” ボタンを押すと設定を変更しません。
❗ 前回の設定は再生時に “” が表示され確認できます。

ボイスメモ録音

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“◀▶”でボイスメモを付けたい画像（静止画）を選びます。

❶“MENU/OK”ボタンを押してメニューを表示します。
❷“◀▶”で“🎙”ボイスメモを選びます。
❸“MENU/OK”ボタンを押します。

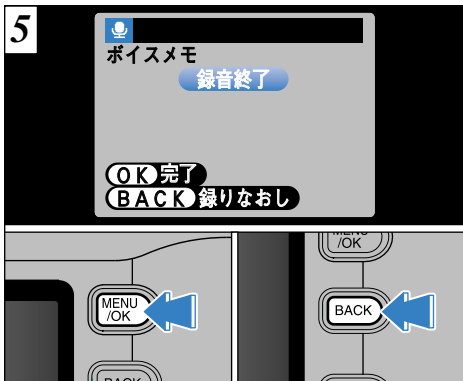
❗本機以外で撮影された画像（静止画）でも、本機で再生できる場合はボイスメモを付けられます。
❗ムービー（動画）にはボイスメモを付けられません。

次ページにつづく

液晶モニターに"録音スタンバイ"と表示されます。"MENU/OK" ボタンを押すと録音が開始されます。

マイクに向かって録音してください。
約20cm離れるとうまく録音できます。

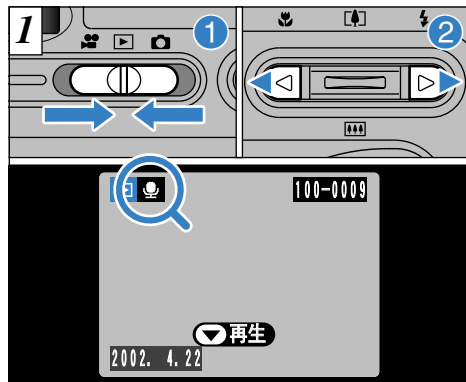
録音中は液晶モニターに残り時間が表示され、セルフタイマーランプが点滅します。
残り時間が5秒になると、セルフタイマーランプが早く点滅します。

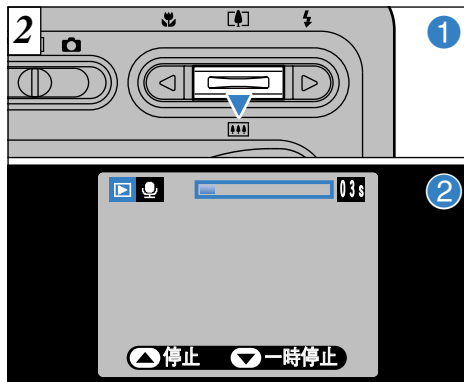
❗ 途中で完了する場合は "MENU/OK" ボタンを押してください。

30秒間録音すると、液晶モニターに“録音終了”と表示されます。

完了する場合:“MENU/OK”ボタンを押します。
録りなおしする場合:“BACK”ボタンを押します。

◆すでにボイスメモがあるときは◆

ボイスメモ付きの画像を選んだときは、再録音するかどうか選択画面が表示されます。

4

ボイスメモ再生

❶モードスイッチを“▶”に合わせます。
❷“◀▶”でボイスメモ付き画像ファイルを選びます。

❶“▼”を押すと再生されます。
❷液晶モニターに再生時間とバーが表示されます。

! マルチ再生ではボイスメモ再生できません。“DISP”ボタンで通常再生にしてください。

“🎙”のアイコンで表示されます。

! スピーカーをふさがないでください。
! 音が聴き取りにくい場合は、音量調節をしてください(➡75ページ)。

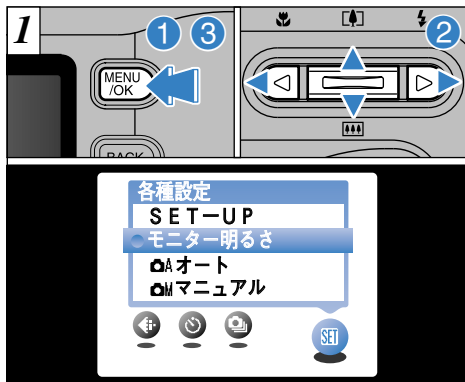
■ボイスメモ再生操作方法

	操　　作	説　　明
再生		再生が終わると自動的に停止します。
一時停止/解除		再生中に操作すると一時停止します。 一時停止中に操作すると一時停止を解除します。
停止		再生を停止します。 ※停止中に "◀▶" を押すと次のファイルに送られます。
早送り/巻き戻し		再生中に操作すると早送り/巻き戻しします。 ※一時停止中は操作できません。

＊パソコンでの再生については別冊：ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

◆再生できるボイスメモファイルについて◆

本機で記録したボイスメモファイル、または弊社製デジタルカメラで3.3V仕様のスマートメディアに記録した30秒以内のボイスメモファイルが本機で再生できます。

SET モニター明るさ調節

各モードで設定できます。

❶“MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。

❷“◀▶” で “SET” 各種設定を選び、“▲▼” で “モニター明るさ” を選びます。

❸“MENU/OK” ボタンを押します。

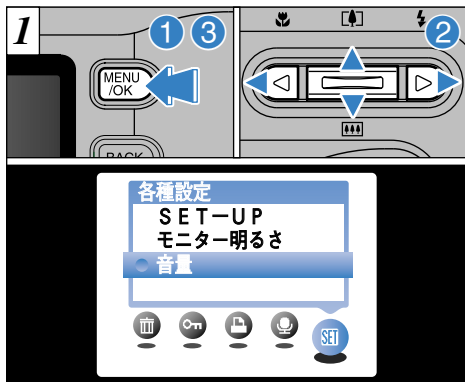
❶“◀▶”で液晶モニターの明るさを調節します。

❷“MENU/OK” ボタンを押します。

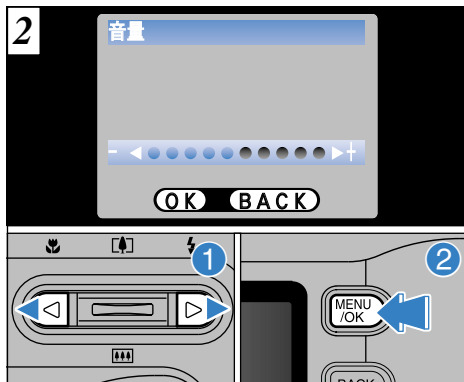
❗画面は静止画撮影の画面です。

❗設定を変更しない場合は“BACK”ボタンを押します。

SET 音量調節

▶ モードでのみ調節できます。

動画やボイスメモの音量を調節します。

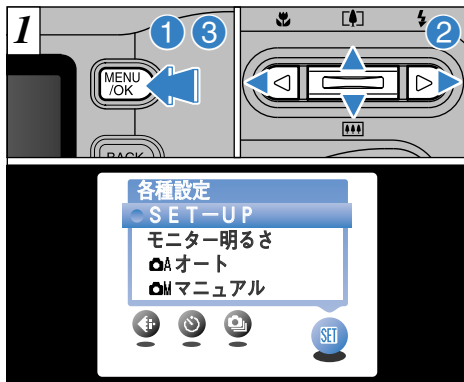
❶“MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。

❷“◀▶” で “SET” 各種設定を選び、“▲▼” で “音量” を選びます。

❸“MENU/OK” ボタンを押します。

❶“◀▶” でスピーカーの音量を調節します。

❷“MENU/OK” ボタンを押します。

5

! 設定を変更しない場合は“BACK”ボタンを押します。

SET SET−UPの操作

各モードで設定できます。

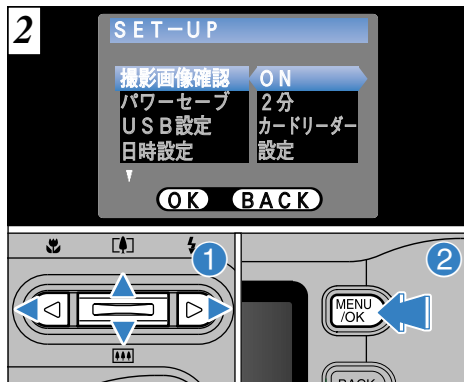
❶ “MENU/OK” ボタンを押してメニューを表示します。

❷ “◀▶” で “SET” 各種設定を選び、“▲▼” で “SET−UP” を選びます。

❸ “MENU/OK” ボタンを押します。

❶ “▲▼” で項目を選び、“◀▶” で設定を変更します。

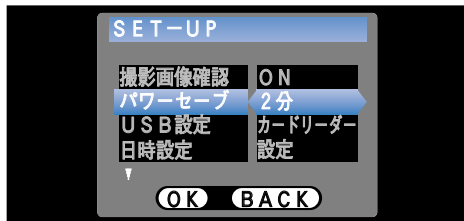
❷ “MENU/OK” ボタンを押します。

! 画面は静止画撮影の画面です。

! “日時設定” “オールリセット” は “▶” を押します。

■SET－UPメニュー一覧（日時設定など）

項　目	表　示	工場出荷時	内　　容
撮影画像確認	ON/OFF	ON	撮影後に画像確認画面（撮影結果）を表示するかどうか設定できます。 撮影結果が約2秒間表示され、自動的に記録されます。 連写では、“OFF”に設定しても一定時間表示され、自動的に記録されます。
パワーセーブ	2分/5分/OFF	2分	何も操作していないときに消費電力を抑え、その後、自動的に電源を切るかどうか設定できます。詳しくは78ページ参照。
USB設定	カードリーダー/ PCカメラ	カード リーダー	詳しくは79ページ参照。
日時設定	設定	－	日付、時刻を修正できます。詳しくは14ページ参照。
LCD	ON/OFF	ON	モードスイッチを“ ”にしたときに、自動的に液晶モニターをONにするかOFFにするか設定できます。
操作音	LOW/HIGH/OFF	LOW	操作したときの音量を設定できます。
オールリセット	実行	－	日時設定を除く、すべての設定（撮影、再生メニュー含む）を工場出荷設定にリセットします。“▶”を押すと確認画面が表示されるので、よければもう一度“MENU/OK”ボタンを押します。

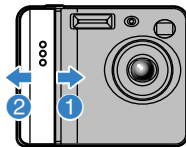
5

SET–UP SET パワーセーブ

本機能を有効にすると、約30秒間操作をしないと一時的に液晶モニターを消し、消費電力を抑えます（スリープ）。その後、しばらく放置（2分間または5分間）すると自動的に電源が切れます。バッテリー駆動時間をできるだけ長くしたいときに使用します。

スリープしているときにシャッターボタンを半押しすると、撮影可能状態に復帰します。電源をON/OFFするよりも、素早く撮影可能になるので便利です。全押しすると撮影することもできます。

! USB接続時では、パワーセーブは無効になります。

液晶モニターOFF、セットアップ、再生モードではスリープは機能しませんが、しばらく放置（2分間または5分間）すると自動的に電源が切れます。

◆再度電源を入れるには◆

いったん電源スイッチを❶切って、❷入れます。

! シャッターボタン以外のボタンでも復帰できます。

接続編では

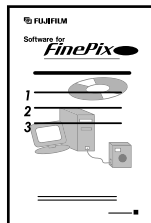
接続編では、カメラとパソコンをUSB専用ケーブルで接続して使用できる機能の説明と、接続方法を紹介します。あわせて別冊のソフトウェア取扱ガイドをご覧ください。

データ通信中に電源が切れると、正常なデータの転送ができません。必ずACパワーアダプターを使った接続をしてください。

カメラをパソコンに初めて接続する際は

接続する前に、ソフトウェアをすべてインストールしておく必要があります。
あわせてソフトウェア取扱ガイドをご覧ください。

CD-ROM
「Software for FinePix」

ソフトウェア取扱ガイド

カードリーダー機能について

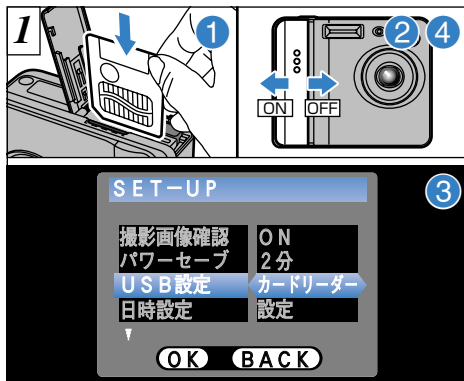
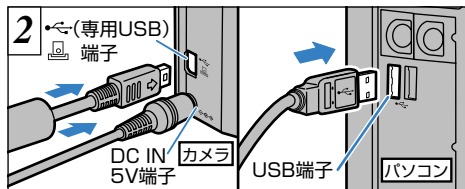
スマートメディアから簡単に画像の読み出し、書き込みができます。USB接続により、高速にファイル転送が行えます(➡80ページ)。

PCカメラ機能について

インターネット接続されたパソコン同士でテレビ電話(“PictureHello”)が楽しめます。また動画をパソコンで記録できます(➡82ページ)。

テレビ電話(“PictureHello”)はMacintoshに対応していません。

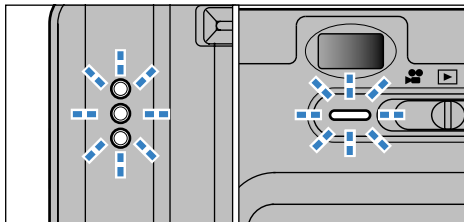
Mac OS X(Classic環境を含む)では、PCカメラ機能を利用できません。Mac OS 8.6〜9.2をご使用ください。

カードリーダー接続方法

❶撮影したスマートメディアをカメラにセットします。ACパワーアダプターの接続プラグを“DC IN 5V”端子に差し込み、次に電源コンセントに差し込みます。
❷電源スイッチをスライドさせ、電源を入れます。
❸SET−UPの“USB設定”を“カードリーダー”にします（➡76、77ページ）。
❹電源スイッチをスライドさせ、電源を切ります。

❶パソコンの電源を入れます。
❷FinePix F401専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。
❸カメラの電源を入れます。

Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
＊パソコンがカメラを認識しない場合は、ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください（➡84ページ）。

❗Windows XPおよびMac OS Xでは、初回接続時に自動起動の設定が必要です（➡別冊のソフトウェア取扱ガイド）。
❗FinePix F401専用USBケーブルは向きに気をつけて、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。

カメラの動作

- カメラとパソコンが通信中のときは、セルフタイマーランプが点滅し、ファインダーランプが緑/橙に交互点滅します。
- 液晶モニターには “カードリーダー” と表示されます。
- USB接続時はパワーセーブしません。

❗スマートメディアの交換は、必ず84ページの手順でカメラとパソコンの接続を切ったあとに行ってください。
❗通信中はUSBケーブルを取り外さないでください。取り外しかたについては、84ページをご参照ください。

パソコンの動作

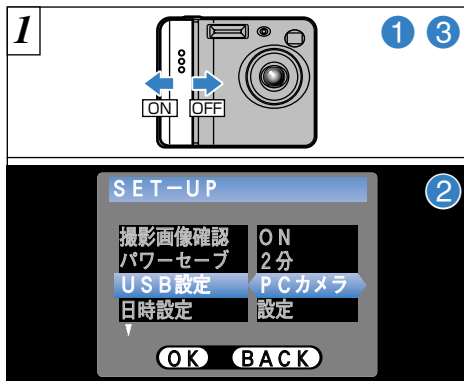
- FinePixViewerが自動的に起動します。

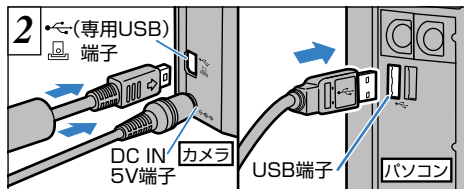
＊Windows 98 SEの画面です。

- リムーバブルアイコンが表示され、パソコンでファイルの読み出し、書き込みができます。

上記の動作が確認できない場合、必要なソフトウェアがうまくインストールできていません。別冊のソフトウェア取扱ガイドを参照して、パソコンでの準備を完了してから、もう一度接続してください。

6

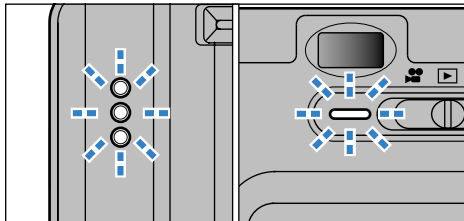
PCカメラ接続方法

ACパワーアダプターの接続プラグを“DC IN 5V”端子に差し込み、次に電源コンセントに差し込みます。

❶電源スイッチをスライドさせ、電源を入れます。
❷SET−UPの“USB設定”を“PCカメラ”にします（➡76、77ページ）。
❸電源スイッチをスライドさせ、電源を切ります。

❶パソコンの電源を入れます。
❷FinePix F401専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続します。
❸カメラの電源を入れます。

Windowsパソコンをお使いの場合、インストールが完了していると、ドライバの設定が自動的に行われますので、そのままお待ちください。
＊パソコンがカメラを認識しない場合は、ソフトウェア取扱ガイドをご参照ください。

カメラを取り外すとき、電源を切るときは、必ず所定の手順で行ってください（➡84ページ）。

! FinePix F401専用USBケーブルは向きに気をつけて、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。

カメラの動作

- カメラとパソコンが通信中のときは、セルフタイマーランプが点滅し、ファインダーランプが緑/橙に交互点滅します。
- レンズが広角側に固定されます。
- 液晶モニターには“PCカメラ”と表示されます。
- USB接続時はパワーセーブしません。

! USB設定をPCカメラにして電源を入れると、液晶モニターの色味が変わることがあります。

! 通信中はUSBケーブルを取り外さないでください。取り外しかたについては、84ページをご参照ください。

パソコンの動作

- FinePixViewerが自動的に起動し、Picture Helloが開きます(Windowsのみ)。

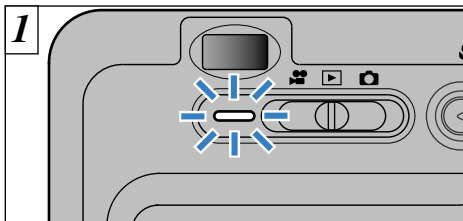
＊Windows 98 SEの画面です。

- VideoImpressionでライブ画像を見ることができます。

＊Macintoshの画面です。

上記の動作が確認できない場合、必要なソフトウェアがうまくインストールできていません。別冊のソフトウェア取扱ガイドを参照して、パソコンでの準備を完了してから、もう一度接続してください。

パソコンと接続を切るには（必ず行ってください）

1

❶カメラを利用しているアプリケーション（FinePixViewer、VideoImpressionなど）をすべて終了します。
❷ファインダーランプが緑色に点灯、またはセルフタイマーランプが消灯している（パソコンと通信していない）ことを確認します。

カードリーダー接続の場合は、2に進みます。
PCカメラ接続の場合は、3に進みます。

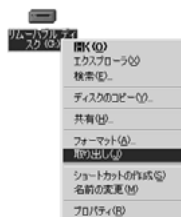
! パソコンで“コピー中”の表示が消えても、カメラと通信中の場合があります。必ずカメラのファインダーランプが緑色に点灯、またはセルフタイマーランプが消灯していることを確認してください。

2 カメラの電源を切る前の作業を行います。この手順は、ご使用のOS（パソコン）によって違います。

Windows 98/98 SE

パソコンでの操作は必要ありません。

Windows Me/2000 Professional/XP

❶マイコンピュータの中の“リムーバブルディスク”アイコンを右クリックし、取り出しをクリックします。この操作はWindows Meのみ必要です。

❷タスクバー上の取り外しアイコンを左クリックします。

＊Windows Meの画面です。

❸下図のメニューが表示されますので、メニュー上をクリックします。

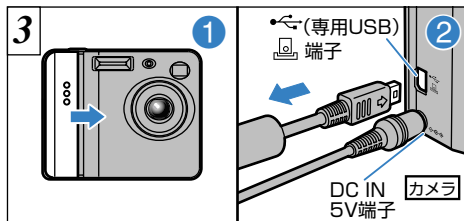
USB ディスク - ドライブ (G:) の停止

＊Windows Meの画面です。

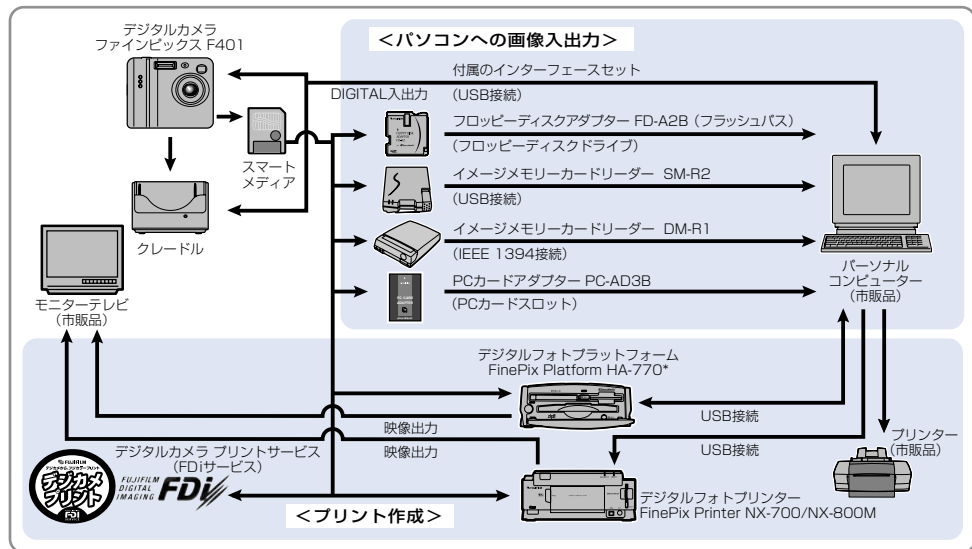
❹“ハードウェアの取り外し”ダイアログが表示されますので、“OK”ボタンかクローズボタンをクリックしてください。

Macintosh

デスクトップの“リムーバブルドライブ”アイコンを、ゴミ箱にドラッグ&ドロップします。

❗ゴミ箱にドラッグ＆ドロップすると、カメラの液晶モニターに“ REMOVE OK ”と表示されます。

❶カメラの電源を切ります。
❷カメラからFinePix F401専用USBケーブルを取り外します。

システムアップ機器（別売）（平成14年6月現在）

▶別売のフジフイルム製品と組み合わせることにより、様々な用途向けにシステムアップすることができます。

＊ HA-770ではFinePix F401の画像データに対してプリント予約することはできません。

その他 別売アクセサリーの紹介（平成14年6月現在）

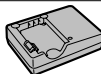
▶使いかたについては、お使いになるアクセサリーの「使用説明書」をご覧ください。

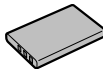
※最新情報は富士フイルムホームページをご覧ください。　http://www.fujifilm.co.jp/
※価格はメーカー希望小売価格、消費税別です。

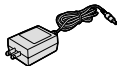
●イメージメモリーカード（スマートメディア™）

●MG-4SB　：　4MB、3.3V仕様　　●MG-8SB　：　8MB、3.3V仕様
●MG-16SW：16MB、3.3V仕様（ID付き）　　●MG-32SW　：　32MB、3.3V仕様（ID付き）
●MG-64SW：64MB、3.3V仕様（ID付き）　　●MG-128SW：128MB、3.3V仕様（ID付き）
＊3.3V仕様品の中には「3V」という表示のものがあります。　※すべてオープン価格

●バッテリーチャージャー BC-60

充電式バッテリーを短時間で充電します。充電時間は約2時間です（NP-60充電時）。
（AC100V～240V、50/60Hz対応）　※6,800円

●充電式バッテリー NP-60

リチウムイオンタイプの薄型充電式電池です。　※5,000円

●ACパワーアダプター AC-5VH

長時間の撮影・再生時、パソコンとの接続時にお使いください。
（AC100～240V、50/60Hz対応）　※4,000円

●PictureCradle CP-FX401

ACパワーアダプターやUSBケーブルを接続しておくと、カメラをのせるだけで充電やパソコン接続が手軽にできます。　※5,000円

●ソフトケース SC-FX401

牛革/合成皮革製の専用ケースです。カメラを持ち運ぶときに、ゴミやほこり、軽い衝撃からカメラを保護します。　※3,000円

その他 別売アクセサリーの紹介（平成14年6月現在）

●フロッピーディスクアダプター FD-A2B（FlashPath：フラッシュパス）

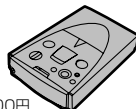
通常の3.5インチのフロッピーディスクと同じ形をしたアダプターです。
スマートメディアをフロッピーディスクアダプターに挿入し、フロッピーディスクドライブからスマートメディアの画像をパソコンに取り込むことができます。

●フロッピーディスクアダプター FD-A2対応OS
Windows 95/98/98 Second Edition/Me（DOS/V機）
Windows 95 4.00.950B OSR2以降/98/98 SE（NEC PC-9821シリーズ）
Mac OS 7.6.1～9.1/Power Macintosh（読み込みのみ）

※12,000円

●デジタルフォトプラットフォームHA-770

スマートメディア、PCカード、Zip 3スロットを装備し、デジタルカメラ画像のアルバム編集、再生機能搭載。パソコン*、テレビ、プリンターに対応したマルチインターフェース。

＊パソコン接続はUSBインターフェース（対応OS：Windows 98（Second Editionを含む）/Windows Me/Windows 2000 Professional、Mac OS 8.5.1～9.1）

※49,800円

●イメージメモリーカードリーダー DM-R1

イメージメモリーカード［スマートメディア、コンパクトフラッシュタイプ Ⅱ（マイクロドライブ対応）］からパソコンに、簡単に画像の読み出し、書き込みができます。
IEEE1394インターフェースにより高速なファイル転送を行います。

●Windows 98 Second Edition、Windows 2000 Professional（読み出し専用）、
iMac DV、およびFireWireを標準装備するPower Macintosh、Mac OS 8.5.1～9.1

※オープン価格

●PCカードアダプター PC-AD3B

スマートメディアをPC Card Standard ATA（PCMCIA 2.1）に準拠したPCカード（TYPE Ⅱ）として使えます。

※10,000円

パソコンでムービー（動画）再生するには、QuickTime3.0以降のソフトウェアまたはDirectX8.0ランタイム（Windowsの場合）が必要です。また、ムービーファイルをハードディスクにコピーしてから再生してください。

使用上のご注意

▶ご使用の前に、必ず別冊の「安全上のご注意」をお読みの上、正しくご使用ください。

■避けて欲しい場所

次のような場所での本機の使用および保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■冠水・浸水、砂かぶりにご注意

水や砂は本機の大敵です。海辺・水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本機を置かないでください。水や砂が本機の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■結露（つゆつき）にご注意

本機を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本機内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、スマートメディアに水滴がつくことがあります。このようなときはスマートメディアを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■長時間お使いにならないときは

本機を長時間お使いにならないときは、バッテリー、スマートメディアを取り外して保管してください。

■カメラのお手入れ

- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどの汚れはブロアーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽くふいてください。それでも取れないときは、フジフイルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽くふいてください。
- レンズ、液晶モニター表面やファインダーなどは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因になります。

■海外で使うとき

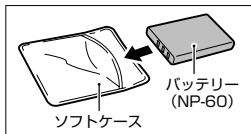
- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障・不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

電源についてのご注意

バッテリー NP-60についてのご注意

本機は、充電式リチウムイオンバッテリー NP-60を使用しています。ご使用に際しては、以下の点にご注意ください。特に別冊の「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

＊NP-60は出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

- NP-60を持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、付属の専用ソフトケースに入れてください。
- NP-60を保管するときは、付属の専用ソフトケースに入れて保管してください。

■バッテリーの特性

- NP-60は使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したNP-60を用意してください。
- NP-60を長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備NP-60をご用意ください。また、使用時間を長くするために、NP-60をポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをお使いになる場合は、直接NP-60に触れないようにご注意ください。低温時に消耗したNP-60を使用すると、カメラが作動しない場合があります。

■充電について

- ACパワーアダプター AC-5V（付属または別売）を使用して充電できます。
  - 充電は周囲の温度が0℃～＋40℃の範囲で可能です。使い切ったNP-60の＋23℃での充電時間は約3時間です。
  - 充電は＋10℃～＋35℃の温度範囲で行ってください。＋10℃～＋35℃の温度範囲外で充電する場合、NP-60の性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。
  - 0℃以下の温度では充電できません。
- 別売のバッテリーチャージャー BC-60を使用して充電ができます。
  - 充電は周囲の温度が0℃～＋40℃の範囲で可能です。使い切ったNP-60の＋23℃での充電時間は約2時間です。
  - 充電は＋10℃～＋35℃の温度範囲で行ってください。＋10℃～＋35℃の温度範囲外で充電する場合、NP-60の性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。
- NP-60は充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、NP-60が熱を持つことがありますが、異常ではありません。
- 充電が完了したNP-60を再充電しないでください。

■バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約300回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、NP-60の寿命です。新しいNP-60をお買い求めください。

保存上のご注意

リチウムイオンバッテリー NP-60は小形で高容量のバッテリーですが、充電された状態で長期間保存すると特性が劣化することがあります。

- しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 専用ソフトケースに入れて、涼しいところで保存してください。
  - 周囲の温度が＋15℃～＋25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。
  - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

危険ですので、次のことにご注意ください

⚠バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。

⚠火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。

⚠分解したり、改造したりしないでください。

壊れたり、寿命が短くなったりしますので、次のことにご注意ください

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。

バッテリーの特性に合わせて上手にお使いいただくために、次のことにご注意ください

- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 温度が上がらない、乾燥した場所に保管してください。長期間高温の場所に置いておくと寿命が短くなります。

長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生にはACパワーアダプターをお使いください。

■小形充電式電池のリサイクルについて

このマークは小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーなど）のリサイクルマークです。小形充電式電池は埋蔵量の少ない高価な希少資源を使用していますが、これらの金属はリサイクルして再利用できます。

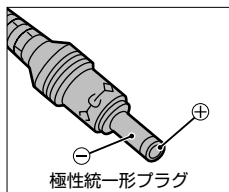
このようにリサイクルすることは、ゴミを減らし、環境を守ることにつながります。ご使用済みの小形充電式電池の廃棄に際しては、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープをはって、小形充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

付属のNP-60の主な仕様

公称電圧	3.7V
公称容量	1035mAh
使用温度	0℃～＋40℃
本体外形寸法	35.2mm×53mm×7.0mm
質量	約30g

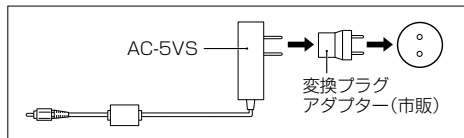
＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

電源についてのご注意

ACパワーアダプターについてのご注意

必ず専用のACパワーアダプター AC-5V（JEITA規格・極性統一形プラグ付き）をお使いください。弊社専用品以外のACパワーアダプターをお使いになるとカメラが故障する原因になることがあります。

- 室内専用です。
- DC入力端子へ、接続コードのプラグをしっかり差し込んでください。
- 接続コードを抜くときは、カメラの電源を切って、プラグを持って抜いてください（コードを引っ張らないでください）。
- ACパワーアダプターは、指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、ACパワーアダプターが熱くなるときがありますが故障ではありません。
- 分解したりしないでください。危険です。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。
- 内部で発信音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。

海外へお持ちになる方へ

定格表示が、AC100V～240V、50/60Hzと表示されているACパワーアダプターは、世界中のほとんどのホテルおよび家庭用電源で使用できます。ただし、電源コンセントの形状は各国、各地様々ですので、お出かけ前には旅行代理店などでお確かめください。

ACパワーアダプターを海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器」などに接続しますと、故障することがありますので、ご使用にならないでください。

AC-5VSの主な仕様

電源	AC100V～240V、 50/60Hz
定格入力容量	16VA～20VA（入力100V～240V、定格出力時）
定格出力	DC 5V、1.5A
使用温度	0℃～+40℃
保存温度	−10℃～+70℃
最大外形寸法	47mm×20mm×72mm (幅/高さ/奥行き)
質量	約120ｇ
接続コード長さ	約2m

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

スマートメディア™についてのご注意

■スマートメディアについて

デジタルカメラ用に開発された、新しい画像記録媒体SmartMedia（スマートメディア）です。スマートメディアの中には、半導体メモリー（NAND型フラッシュメモリー）が内蔵されており、このメモリーにデジタル化された画像ファイルが記録されます。
記録は電気的に行われますので、一度記録した画像ファイルを消去したり、再び記録することができます。

■ID付きスマートメディアについて

SmartMedia ID（ID付きSmartMedia）は、スマートメディア個々にID（番号）を割り振ったもので、IDを利用した著作権保護、その他の仕組みを持つ機器で使用できます。本機では、従来のスマートメディアと同様に使用できます。

■ファイル保持について

以下の場合、記録したファイルが消滅（破壊）することがあります。記録したファイルの消滅（破壊）については、弊社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

＊お客様または第三者がスマートメディアの使いかたを誤ったとき
＊スマートメディアが静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき
＊スマートメディアに記録動作中・消去（フォーマット）動作中にスマートメディアを取り出したり機器の電源を切ったとき

大切なファイルは別のメディア（MOディスク、CD-R、CD-RW、ハードディスクなど）にコピーして、バックアップ保存されることをおすすめします。

■取扱上のご注意

- スマートメディアをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- スマートメディアの記録中・消去（フォーマット）中は、絶対にスマートメディアを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。スマートメディアが破壊されることがあります。
- 指定以外のスマートメディアはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- スマートメディアは精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用・保管は避けてください。
- 高温多湿の場所、または腐食性のある環境下でのご使用・保管は避けてください。
- スマートメディアの接触面（金色の部分）にゴミや異物がつかないように、また触らないようにご注意ください。汚れは乾いた柔らかい布などでふいてください。

スマートメディア™についてのご注意

- スマートメディアの持ち運びや保管時は、静電気による影響を避けるため、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。また、収納ケースがある場合は収納ケースに入れてください。
- 静電気を帯びたスマートメディアをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したスマートメディアが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- スマートメディアには寿命があり、長期間使用するうちに書き込みや消去ができなくなります。このときは新しいものをお買い求めください。
- インデックスエリアには、付属のインデックスラベルをはってください。市販のラベルなどは、はらないでください。スマートメディアの出し入れの際、故障の原因になります。
- インデックスラベルは、ライトプロテクトエリアにかからないように、はってください。
- 万一、弊社の製造上の原因による初期品質不良がありました場合には、同数の新しいスマートメディアとお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。

■スマートメディアをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのスマートメディアを使って撮影する場合、スマートメディアのフォーマットはカメラで行ってください。
- スマートメディアをカメラでフォーマットして撮影・記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パソコンでスマートメディアのフォルダ名、ファイル名の変更・消去などの操作を行わないでください。スマートメディアがカメラで使用できなくなることがあります。
- スマートメディア上の画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーし、コピーした画像ファイルを編集してください。
- カメラで使用するファイル以外のコピーはしないでください。

主な仕様

形　式	デジタルカメラ用イメージメモリーカード SmartMedia（スマートメディア）
動作電圧	3.3V
使用条件	温度 0℃～＋40℃ 湿度 80%以下（結露しないこと）
外形寸法	37mm×45mm×0.76mm（幅/高さ/厚み）

警告表示

▶液晶モニターに表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処　　置
（赤点灯） （赤点滅）	カメラのバッテリーの容量が減っている、または少ない。	新しいバッテリーを準備するか、交換してください。
!	シャッター速度が遅く、手ブレを発生しやすい状態。	ストロボ撮影してください。ただし撮影シーンやモードによっては、三脚を使用してください。
!AE	AE連動範囲外。	適正露出ではありませんが、撮影できます。
!AF	AF（オートフォーカス）がうまく働かない。	●暗い場合は被写体から2m程度離れて撮影してください。 ●AFロック撮影をしてください。
カードがありません	スマートメディアが入っていない、または5V仕様のスマートメディアが裏向きに入っている。	スマートメディア（3.3V仕様）を正しい向きにセットしてください。
フォーマットされていません	●スマートメディアがフォーマット（初期化）されていない。 ●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。	●スマートメディアをフォーマットしてください。 ●スマートメディアの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでもERRORの場合はスマートメディアを交換してください。
	●カメラが故障している。	●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

警告表示

警告表示	警告内容	処　置
カードエラー	●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●スマートメディアが壊れている。 ●スマートメディアのフォーマットが異常。 ●カメラが故障している。	●スマートメディアの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでもERRORの場合はスマートメディアを交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
空き容量がありません	スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。	画像を消去するか、空き容量のあるスマートメディアを使用してください。
プロテクトされたカードです	スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	誤記録防止状態になっていないスマートメディアを使用してください。
再生できません	●正常に記録されていないファイルを再生しようとした。 ●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●カメラが故障している。 ●本機以外で記録した動画を再生しようとした。	●再生することはできません。 ●スマートメディアの接触面を、乾いた柔らかい布などでよくふいてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでもERRORの場合はスマートメディアを交換してください。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 ●再生することはできません。
コマNO．の上限です	コマNo.が999―9999に達している。	フォーマットしたスマートメディアに撮影してください。

警告表示	警告内容	処　　置
記録できませんでした	●スマートメディアと本体の接触異常またはスマートメディアの異常のため記録できない。 ●撮影した画像がスマートメディアの空き容量を超えて記録できない。	●スマートメディアを入れ直すか電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。 ●新しいスマートメディアを使用してください。
ボイス再生できません	●ボイスメモファイルが異常。 ●カメラが故障している。	●ボイスメモを再生することはできません。 ●弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
プロテクトされています	プロテクトされているファイルを消去しようとした。	プロテクトしたファイルは消去できません。プロテクトを解除してください。
これ以上予約できません	DPOFのコマ設定で1000コマ以上のプリント指定をした。	同一スマートメディア内でプリント指定できるコマ数は999コマまでです。別のスマートメディアにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
フォーカスエラー ズームエラー	カメラが誤作動または故障している。	●レンズ部に触らないようにして、電源を入れ直してください。 ●電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。
レンズカバーが開いていません	レンズカバーに異常。	●レンズ部に触らないようにして、電源を入れ直してください。 ●電源のON/OFFを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

困ったときは

▶故障とお考えになる前に、もう一度お調べください。処置を行っても改善されない場合は弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
充電しようとしたが、セルフタイマーランプが点灯しない。	●バッテリーが入っていない。 ●カメラとACパワーアダプターが正しく接続されていない。	●バッテリーを入れてください。 ●正しく接続してください。
充電時にセルフタイマーランプが点滅して充電できない。	●バッテリーの端子が汚れている。 ●バッテリーの故障、もしくは寿命。	●バッテリーをいったん取り出して入れ直してください。 ●バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。 ●充電済みの新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サービスステーションにお問い合わせください。
電源が入らない。	●バッテリーが消耗している。 ●ACパワーアダプターの電源プラグがコンセントから外れている。 ●バッテリーが逆に入っている。	●充電済みのバッテリーと交換してください。 ●電源プラグをコンセントに差し込んでください。 ●バッテリーを正しい方向に入れてください。
電源が途中で切れる。	バッテリーが消耗している。	充電済みのバッテリーと交換してください。
バッテリーの消耗が早い。	●温度が極端に低いところで使っている。 ●端子が汚れている。 ●バッテリーの寿命。	●バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。 ●バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布でふいてください。 ●充電済みの新しいバッテリーと交換してください。

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
シャッターボタンを押しても撮影できない。	●スマートメディアが入っていない。 ●スマートメディアに空き容量がなく、これ以上記録できない。 ●スマートメディアが誤記録防止状態になっている。 ●スマートメディアがフォーマットされていない。 ●スマートメディアの接触面（金色の部分）が汚れている。 ●スマートメディアが壊れている。 ●パワーセーブになり、電源が切れた。 ●バッテリーが消耗している。	●スマートメディアを入れてください。 ●新しいスマートメディアを入れるか、不要なコマを消去してください。 ●誤記録防止状態を解除してください。 ●フォーマットしてください。 ●スマートメディアの接触面を乾いたきれいな布でふいてください。 ●新しいスマートメディアを入れてください。 ●電源を入れてください。 ●充電済みのバッテリーと交換してください。
ストロボ撮影できない。	●ストロボ充電中にシャッターボタンを押した。 ●バッテリーが消耗している。 ●ストロボ発光禁止になっている。	●充電が完了してからシャッターボタンを押してください。 ●充電済みのバッテリーと交換してください。 ●ストロボをオート、赤目軽減または強制発光にします（ストロボ撮影できないモードがあります）。
ストロボを発光禁止以外に設定できない。	連写が設定されている。	連写をOFFに設定してください。

▶故障とお考えになる前に、もう一度お調べください。処置を行っても改善されない場合は弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
ピクセルが“1M”しか選べない。	撮影メニューの感度が800または1600(高感度撮影)に設定されている。	撮影メニューの感度を400以下に設定してください。
ストロボが発光したのに撮影した画像が暗い。	●被写体が遠い。 ●ストロボ/ストロボ調光センサーに指が掛かっている。	●ストロボ撮影可能距離内で撮影してください。 ●カメラを正しく構えてください。
画像がぼやけている。	●レンズが汚れている。 ●マクロを設定したまま、遠景を撮影した。 ●マクロを設定しないで、近距離を撮影した。 ●オートフォーカスの苦手な被写体を撮影した。	●レンズを清掃してください。 ●マクロを解除してください。 ●マクロを設定してください。 ●AF/AEロック撮影をしてください。
画像に点状のノイズがある。	気温が高い環境でスローシャッター(長時間露光)撮影した。	CCDの特性によるもので故障ではありません。
カメラから音が出ない。	●カメラの音量設定が小さくなっている。 ●撮影/録音中にマイクをふさいでいる。 ●再生中にスピーカーをふさいでいる。	●音量を調節してください。 ●撮影/録音時はマイクをふさがないでください。 ●スピーカーをふさがないでください。
1コマ消去でコマが消せない。	●プリント予約されている。 ●コマがプロテクトされている。	●プリント予約を“なし”に設定してください。 ●プロテクトを解除してください。
全コマの消去で、すべてのコマが消せない。		
スマートメディアのフォーマットができない。	スマートメディアが誤記録防止状態になっている。	誤記録防止状態を解除してください(ライトプロテクトシールをはがします)。
PC(パソコン)接続で、カメラの液晶モニターに撮影画面が表示される。	●PCまたはカメラにFinePix F401専用USBケーブルが正しく接続されていない。 ●PCの電源が入っていない。	●正しく接続してください。 ●PCの電源を入れてください。

困ったときは	ここをチェック	こうしてください
カメラのスイッチを操作しても作動しない。	● カメラの誤作動。 ● バッテリーが消耗している。	● バッテリー、ACパワーアダプターをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。 ● 充電済みのバッテリーと交換してください。
カメラが正常に作動しなくなった。	カメラが予期しない状態になっている。	バッテリー、ACパワーアダプターをいったん取り外して、再び取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。

用語の解説

EV
：露出を表す数値で、被写体の明るさとフィルムやCCDなどの感度によって決まります。被写体が明るければ数値は大きくなり、暗ければ数値は小さくなります。デジタルカメラは被写体の明るさの変化に対して、絞りやシャッター速度を調整することによりCCDに与える光量を一定にしています。
CCDに与えられる光量が2倍になるとEV値は＋1、半分になるとEV値は－1変化します。

Exif（イグジフ）ファイル形式
：Exif（イグジフ）は、電子情報技術産業協会（JEITA）にて承認されたデジタルスチルカメラ用のフルカラー静止画像フォーマットです。TIFFやJPEGとの互換性があり、一般的な画像処理ソフトウェアで取り扱うことができます。サムネイル画像やカメラ情報の記録方法も規定されています。さらにフォルダ構造、フォルダ名についての規定を含めて、DCFがJEITA規格になっています。

JPEG（ジェイペグ）
：Joint Photographic Experts Groupの略で、もとは画像圧縮の標準化を推進している組織の名称。そこで標準化したカラー画像を圧縮して保存するためのファイル形式です。圧縮率は選択できますが、圧縮率が高くなるほど伸長（画像の復元）したときの画質は劣化します。

Motion JPEG（モーション ジェイペグ）
：画像と音声の両方をひとつのファイルで扱うためのファイルフォーマット AVI（Audio Video Interleave）形式の1種類であり、ファイル内の画像はJPEG形式で記録されています。
パソコンでは下記のソフトで再生できます。
Windows　：MediaPlayer　＊DirectX8.0以降必要
Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降

WAVE（ウェイブ）　：音声を保存するためのWindowsにおける標準フォーマットで、拡張子は“.WAV”です。記録形式には非圧縮記録と圧縮記録があります。本機では非圧縮記録を採用しています。パソコンでは下記のソフトで再生できます。

Windows　：MediaPlayer
Macintosh：QuickTime Player　＊QuickTime3.0以降

ホワイトバランス　：人間の目にはどんな照明のもとでも、白い被写体は白に見えるという順応性があります。これに対してデジタルカメラなどでは、被写体周辺の照明光の色に合わせて調整を行って初めて、白い被写体が白く撮影されます。この調整をホワイトバランスを合わせるといいます。ホワイトバランスを自動的に合わせる機能を**オートホワイトバランス**といいます。

主な仕様

システム

- **型式**：デジタルカメラ
- **有効画素数**：210万画素
- **記録メディア**：スマートメディア（3.3V仕様）
- **記録方式**
  静止画：DCF準拠(Exif Ver.2.2 JPEG準拠)/ DPOF対応
  動　画：DCF準拠(AVI形式 Motion JPEG)
  音　声：Exif Ver.2.2音声ファイル規定準拠
- **記録画素数（ピクセル）**
  2304×1728/1600×1200/1280×960/640×480
  ハニカム信号処理により最大2304×1728(約398万画素)
- **撮像素子**：1/2.7型スーパーCCDハニカム
  原色フィルター採用（総画素数：211万画素）
- **撮像感度**：ISO 200、400 / 800、1600（1Mのみ）
- **レンズ**：スーパーEBC フジノン光学式3倍ズームレンズ
- **焦点距離**：f=5.7mm〜17.1mm
  (35mmカメラ換算：38mm〜114mm相当)
- **ファインダー**：実像式光学ファインダー　視野率 約80%
- **露出制御**：TTL64分割測光、プログラムAE、マニュアル撮影モード時露出補正可能
- **ホワイトバランス**
  オート（マニュアル時：7ポジション選択可能）
- **撮影可能範囲**
  標　準：約60cm〜無限遠
  マクロ：約10cm〜約80cm
- **シャッター**
  可変速　1/4秒〜1/2000秒(メカニカルシャッター併用)
- **絞り**：F2.8〜F4.8/F7〜F11.6（自動切り換え）
- **フォーカス**：TTLコントラスト方式　オート
- **スマートメディア標準撮影枚数/記録時間**
  撮影枚数は被写体により多少の増減があります。また、実際の撮影枚数はスマートメディアの容量が大きくなるほど、標準枚数との差が大きくなる場合があります。

ピクセル（画質）	4M 4M・F	4M 4M・N	2M 2M	1M 1M	03M 0.3M	320	160
記録画素数	2304×1728（約398万）		1600×1200（約192万）	1280×960（約123万）	640×480（約31万）	ムービー	
画像1枚のファイルサイズ	約1.6MB	約790KB	約390KB	約320KB	約130KB	—	—
MG-4S（4MB）	2	4	9	12	30	約24秒	約83秒
MG-8S（8MB）	4	9	19	25	61	約49秒	約169秒
MG-16S（16MB）	9	19	39	49	122	約98秒	約337秒
MG-32S（32MB）	20	39	79	99	247	約199秒	約679秒
MG-64S（64MB）	40	79	159	198	497	約400秒	約1365秒
MG-128S（128MB）	81	159	319	398	997	約802秒	約2735秒

●**セルフタイマー**：タイマー時間　約10秒
●**消去方式**：1コマ消去･全コマ消去･フォーマット（初期化）
●**液晶モニター**：1.5型　11.4万画素　低温ポリシリコンTFT
●**ストロボ**：調光センサーによるオートストロボ
撮影可能距離　広角：約0.4m～約3.5m
　　　　　　　望遠：約0.4m～約2m
発光モード：オート/赤目軽減/強制発光/発光禁止/
　　　　　　スローシンクロ

入・出力端子

●**DC入力端子**：専用ACパワーアダプター AC-5VS接続
●**(専用USB)端子**
パソコンへのファイル転送、および別売のクレードルと接続

電源部、その他

●**電源**
充電式バッテリーNP-60（付属）または専用ACパワーアダプターAC-5VS使用
●**使用条件**
温度0℃～+40℃　湿度80%以下（結露しないこと）

●**バッテリー作動可能枚数（フル充電時）**

電池の種類		撮影枚数
NP-60	液晶モニターON	約200枚
	液晶モニターOFF	約450枚

撮影枚数は常温でストロボ使用率50%の場合の、連続して撮影できる目安です。ただし、カメラの使用環境温度やバッテリー充電量のバラツキによる変動があります。低温時では作動可能枚数が少なくなります。

●**本体外形寸法**
85.0mm×69.4mm×27.5mm（幅/高さ/奥行き）
＊付属品、突起部含まず
●**本体質量**：約185g
（付属品、バッテリー、スマートメディア含まず）
●**撮影時質量**：約215g（バッテリー、スマートメディア含む）
●**付属品**：5ページをご覧ください。
●**別売アクセサリー**：87～88ページをご覧ください。

■セルフタイマーランプ表示について

カメラの動作	表示	状態
充電時	点灯	充電中
	消灯	充電終了
	点滅	充電異常
電源	点灯	電源スイッチ入（数秒後に消灯）
セルフタイマー	点灯	撮影まで10～5秒前
	点滅	撮影まで5秒以内
ボイスメモ録音	点滅	録音中
	早い点滅	録音終了まで5秒以内
パソコンと接続	点滅	パソコンと通信中
	消灯	取り外し可能

＊仕様・性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書の記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
＊液晶モニターは非常に高精密度の技術で作られておりますが、0.01%以下の画素で点灯しないものや、常時点灯するものがありますので、あらかじめご了承ください。また、記録される画像には影響ありません。
＊レンズの特性により、撮影した画像の端がゆがむ場合がありますが、故障ではありません。

アフターサービスについて

保証書

●保証書はお買上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
●保証期間は、お買上げ日より1年間です。この期間は保証書の記載内容に基づいて無償修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

アフターサービス

■調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。
使いかたの問題か、故障か迷うときは、弊社DIサポートセンターへお問い合わせください。

■故障と思われるときは

弊社サービスステーションに修理をご依頼ください。送付方法は、下記の中からお客様のご都合によりお選びください。
①お買上げ店にお持ちいただく
②弊社サービスステーションに宅配便等で送付いただく（送付修理）
③弊社サービスステーションにお持ちいただく（持込修理）
なお、集配ルートの都合上、①の方法よりは、②もしくは③の方法が、お預かりの期間は短くなります。
上記①③の場合の交通費、②の場合の送料などの諸費用はお客様にてご負担願います。

■修理ご依頼に際してのご注意

●保証規定による修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または弊社サービスステーションにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。
●修理品の持込修理/送付修理を弊社サービスステーションに依頼される場合には、次ページ「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
●修理箇所のご指定のないとき、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
●修理料金のお見積もりをご希望の場合は、「修理依頼票」の「お見積もり」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理をすすめさせていただきます。
●落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合は、修理をお断りする場合があります。

■修理部品の保有期間

本機の補修用部品は、製造打ち切り後8年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

■交換した部品について

交換した部品は、今後の品質向上に役立てるため、弊社にて引き取らせていただいております。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

■修理料金の支払い方法について

①お買上げ店にお持ちいただいた場合
　お持ちいただいたお店にご確認ください。
②弊社サービスステーションに宅配便等で送付いただいた場合（送付修理）
　修理完了品は代金引換となりますので、運送業者に直接お支払いください。
③弊社サービスステーションにお持ちいただいた場合（持込修理）
　修理完了品お引き取りの際、サービスステーション窓口でお支払いください。

FinePix F401 修理依頼票

※弊社サービスステーションに故障品の送付あるいはお持込みの際には、お手数をおかけして申し訳ありませんが、迅速・適切な修理をするために必要事項をご記入の上、製品に添付してください。
※下表の□は、該当する項目にチェック(✓)を入れてください。

フ　リ　ガ　ナ		電　話　番　号	
お　名　前		ファクス番号	
ご　住　所	〒　　—		
ボディ番号（機番） 保証書あるいは本体底面に記載してある8桁の番号です。修理お問い合わせ時にご連絡ください。	No.		
修理品への添付	□保証書　□スマートメディア（　　MB）　□電池 □(　　)　□(　　) □(　　)　□(　　)		
故障内容（故障時の様子や発生頻度、症状など具体的にご記入ください。）			
お　見　積　も　り	□必要（修理金額　　円以上見積もり）　□不要		
お見積もり連絡方法	□電話　□ファクス		

※本紙はコピーしてお使いください。200%に拡大すると、約A4サイズになります。

修理の受付は…

以下に送付修理・持込修理の受付場所を記載します。
修理品をお買上げ店へお持ちいただく場合よりもお預かりの期間は短くなります。

●【送付修理】：サービスステーションに直接ご送付いただく場合

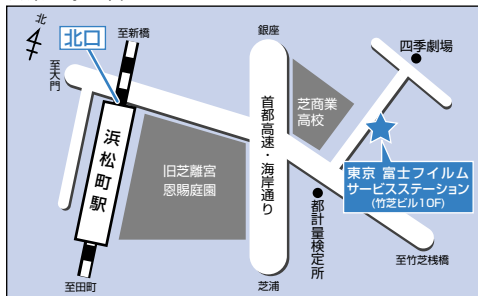
・下記の7カ所のサービスステーションで受け付けております。送付時には、お手数ですが「修理依頼票」を添付してください。
・有償修理の場合の修理料金は代金引換となりますので、運送業者に直接お支払いください。

東　京：富士フイルムサービスステーション	〒105-0022	東京都港区海岸1-9-15 竹芝ビル	TEL（03）3436-1315
札　幌：富士フイルムサービスステーション	〒060-0002	札幌市中央区北2条西4-2 札幌三井ビル別館	TEL（011）222-3973
仙　台：富士フイルムサービスステーション	〒980-0811	仙台市青葉区一番町4-6-1 仙台第一生命タワービル	TEL（022）265-2149
名古屋：富士フイルムサービスステーション	〒460-0008	名古屋市中区栄1-12-19	TEL（052）202-1851
大　阪：富士フイルムサービスステーション	〒541-0051	大阪市中央区備後町3-2-8 大阪長谷ビル	TEL（06）6260-0915
広　島：富士フイルムサービスステーション	〒732-0816	広島市南区比治山本町16-35 広島産業文化センター	TEL（082）256-3511
福　岡：富士フイルムサービスステーション	〒812-0018	福岡市博多区住吉3-1-1	TEL（092）281-4863

●【持込修理】：サービスステーションにお持ちいただく場合

・上記7カ所のサービスステーションで受け付けております。お持ちいただく際には、お手数ですが「修理依頼票」を添付してください。
・【受付時間】月～金　午前9：00～12：00　午後1：00～5：40
・サービスステーションは、土・日・祝日・年末年始は休業させていただきます。その他夏期など休業させていただく場合があります。
・有償修理の場合の修理料金は、修理品お引き取りの際、サービスステーション窓口でお支払いください。
・本書に地図の記載がないサービスステーションは、弊社ホームページ（http://www.fujifilm.co.jp/）もしくはFinePixのホームページ（http://www.finepix.com/）をご覧ください。
・東京、大阪のフォトサロンは、上記7カ所のサービスステーションに加えて、修理品の受渡し業務のみを行っております。ただし、修理は行っておりませんので、お急ぎのお客様は、上記7カ所のサービスステーションにお持ちください。

東　京：富士フォトサロン	〒104-0061	東京都中央区銀座5-1 銀座ファイブ	TEL（03）3571-9411
大　阪：富士フォトサロン	〒530-0001	大阪市北区梅田1-9-20 大阪マルビル	TEL（06）6346-0222

★東　京：富士フイルムサービスステーション

JR山手線浜松町駅北口下車　徒歩5分

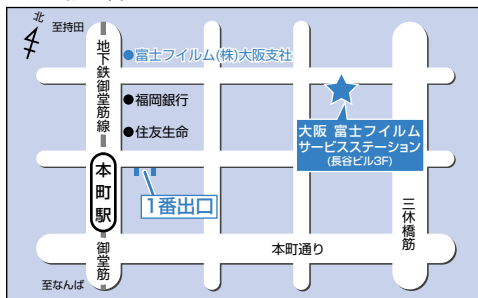
TEL（03）3436-1315

【受付時間】

月〜金　午前 9：00〜午後5：40

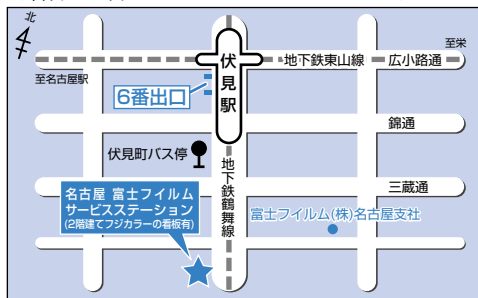
土　　　午前10：00〜12：00　午後1：00〜4：00

✻土曜日は修理品の受渡し業務のみ行っております。

★大　阪：富士フイルムサービスステーション

地下鉄御堂筋線本町駅1番出口下車　徒歩5分

TEL（06）6260-0915

【受付時間】月〜金　午前9：00〜12：00　午後1：00〜5：40

★名古屋：富士フイルムサービスステーション

地下鉄東山線伏見駅6番出口下車　徒歩5分

TEL（052）202-1851

【受付時間】月〜金　午前9：00〜12：00　午後1：00〜5：40